夕刊 滿洲日報 十二月廿九日

明春一月一日を期して治外法權を撤廢する

辦法を作つて速やかに公布 國民政府より聲明

【南京廿八日發電】國民政府は本日午後治法撤廢問題に關し左の如き聲明を發表し中外に宣布した。凡そ統治權完成の國家にありては國家に居住する外人は該國家の法律の支配及び司法機關の管轄を受くる事は固有の要素にして又國際公法の確定不易の原則とする處なり中國は領事裁判權の束縛を受くる事八十餘年に至る國家の法令は外人に及ぼす能はず若し領事裁判權にして一日排除せざれば中國の統治權は一日完備する能はず茲に我國固有の法律を恢復するため民國十九年一月一日よりおよそ中國に居住する外人にして現在領事裁判權を享有するものは將さに一律に中國の中央政府及び地方政府が法によつて發布せる法令規定を遵守すべし之に關しては行政院司法院は所管機關に命じ速かに辦法を作り立法院に廻付して之を審議し速かに公布するに便ならしむる處あるべし

伊國が治廢に好感で北平外交團の歩調亂る

【北平特電二十八日發】明年一月一日から治外法權撤廢實施に決定して居るが北平の外交團は目前に迫つたこの問題に對し打合せをなしつゝあるといふも各本國政府の政策に變動を來し歩調一致せず悲觀すべき狀態にある、即ち伊國が本問題に對し相當好意的態度を持し來れるがため各國の歩調が亂れる結果となつたものである

は海相官邸を訪問し名刺を置いて辭去した、當地はクリスマス休

英京の全權

準備と打合せに專念

【ロンドン廿八日發電】若槻、松平兩全權は同伴で今朝セント、ヂエームス宮殿を訪問し訪問帳に署名して退出し同十一時外務省にサー、ロナルド、リンゼー氏を訪ひ昨日の答禮を述べた、尚財部全權

暇にて各要人は全部不在で全權等は準備と打合せに專念して居る

全權の旅舍色めく

事務整理開始

【ロンドン廿八日發電】日本全權一行の當地到着と共にグロヴナー、ハウスは色めきたち裏表の入口に英國旗、海軍旗を交叉して敬意を表し全權及び其の他は三階に事務所は二階を宛て事務整理を始め居りホテルは一行及び訪問客で到る處右往左往して居る

佛蘭西の下院で軍艦建造案承認

明年度に四萬八千噸

【パリ廿八日發電】フランス下院は本日合計四萬八千噸の千九百三十年度軍艦建造案を承認した

哈市の勞農代表の歡迎茶會

露都の正式會議と勞農側の希望細目協約

一九二四年の露支協定による

【ハルビン特電二十九日發】露支正式會議は一月二十五日からモスクワに於て開催されるが、ソウエート側は一九二四年の露支協定による細目協約を希望し

一、通商條約の改訂
二、國境の査定
三、露支兩國民の居住權問題
四、駐支ロシア大使館の恢復
五、東支問題に關する準略協定の根本解決

等が議せられる筈である

國境開通の命令

近くル局長から發す

【ハルビン特電二十九日發】東支鐵道の歐亞及び烏蘇里との連絡は一月一日から行ふ筈へらる、ルデイ局長とデニソフ副局長は二十九日歸哈すると共に三十日臨時理事會を召集し直に正式に着任を決定しル氏は國境の開通命令を發する筈、尚理事會は露支七名の理事出席を法定數とせるも、若しその員數に滿たぬ時は一時便法を講ずるであらう、露國側としてはイズマイロフ、ダニレフスキーの兩氏であるが、或はシマノフスキー氏が參加すると見られ、支那側は范、汪、李の四氏が列席する筈である

勞農代表の顏觸れ

【ハルビン特電二十九日發】勞農側代表一行の顏觸れは左の如くである

東支管理局長ルデイ氏副局長デニソフ氏秘書ワシレフスキー氏

犬養總裁から引退取消挨拶

【東京二十九日發電】政友會犬養總裁は嚮に岡山縣選擧民に對し政界引退の聲明を爲したが、今回再び政友會總裁として就任につき政界引退の取消を爲すべく其の旨挨拶狀を區民に送つた

東支割引撤廢

【ハルビン特電二十九日發】范其光代理局長が布告した東支東西兩線の運賃割引率は一月一日から撤廢さると

何成濬氏太原へ

重要使命を帶びて來平

【北平廿八日發電】何成濬氏は閻錫山氏訪問のため本日午後二時來平今夜八時發太原に赴く筈である、その目的は蔣介石氏との政綱授受の重要使命を帶びたものでその結果は重要視されて居る、氏は往訪の記者に語る

予は太原に於いて閻氏と會見後直ちに鄭州に赴き唐生智軍伐討の總攻撃命令を下し漢口より北上する何應欽軍と挾撃してこれを絕滅する決心である、蔣介石氏は改組派その他一切の反動軍隊掃蕩の結果國府内部を撤底的に恢復すべく準備中で近く實行の筈である

倫敦銀塊新安値に落つ

【ロンドン廿八日發電】數日來續落の當地銀塊相場は今朝一オンス二十一片二分の一と言ふレコード破りの新安値を現出した

昭和三年の貿易外勘定

受取超過二億一千八百萬圓

【東京廿九日發電】昭和三年中に於ける貿易外收支勘定は二億一千八百萬圓の受取超過を示し前年より一億五千六百八十三萬五千圓の受取り增加である、內經常收入の受取增加は一億七千三十七萬六千圓で前年より二千二百餘萬圓の改善である、尚ほ同年中の貨物貿易の入超三億三千三百萬圓を差引けば一億一千五百萬圓の支拂超過となつてゐる

原田男、園公に政情報告

【江尻廿九日發電】原田熊雄男は二十八日午前十時西園寺公を訪問し現下の政情を報告し同五十分辭去、零時五十分興津發歸京した

赤旗を振り翳ざして狂喜する赤系露人

勞農代表一行の到着した夜のハルビン驛頭

【ハルビン發】十月東支那官憲のために彈壓されたソウエート國人が漸く其の桎梏のもとから解放される日が來た、十二月廿六日のハルビン驛頭の夜の光景を觀たものはゴーッと云ふ恐ろしい力をもつて地底に流れる群衆の怒りと滿庭の雪を埋めた黑山の人の波、赤い勞農小旗の眞紅に蔽はれて物凄い勢ひに懷いたであらう

これは哈府に於ける露支會議の成立によつてロシア側代表としてシマノフスキー、ルデイ、デニソフ、イズマイロフ其他ゲペ・ウ、秘書、烏蘇里商業部代表エステチエンコ氏等十五名が愈々ハルビンに乘込んで來る當夜の歡景である

◇

ポグラを發車した蔡運升全權の特別列車にロシヤ側代表も同行であると聞いたソウエートの東支從業員等は昨夜の如くに驛に詰めかけたが、勞働機關紙アンガスターが廿六日の通信に「ロシア全權代表の一行は十二時頃着哈の豫定である」と報道し時に其の日の記事に「御用の方はアンガスターに照合されたい」と附言し通報したので、殆ど總罷の潮に投げ込まれてゐた共產黨事件で拘禁された者の遺族を始め萬員等は天日の光明を仰ぐことのできる歡喜に躍りながら沿道を埋めて續々と驛に向つて詰めかけ午後九時頃には驛に赤いリボンを締いた其等の群衆が千重、二十重と二等待合室に雪崩れ込みやがてもならん人いきれのうちにプラットホームへと擁うつて流れ出た、支那巡警や白系露人の巡警がする位では彼等は既に斷易しないで九時半頃になると表入口には巡警が立つて斷然通行を阻止したが然し勢ひと力は彼等の微弱な防禦を突破し群集は鯨波の聲を上げ喊聲のうちに關門を破つてプラットホームへと續々と押し寄せた

◇

やがて構內の時計は十一時を示した、三時間餘も二十餘度の寒天に曝された群集は熱と力に支へられて斷體しても我等の歡迎をしやうと頑張り、既に貴賓室にはブリヤンスキー技師、ドイツ副領事ヘンセリー、東支商業部前奉天支部長ヴエーレフ、極東銀行のボクレペロキー其他ソウエート幹部にネズナイコカバルキン、コヘレフスキー氏と日支露の新聞記者等總勢七、八十名が集まつた

◇

漸くに時は迫る十一時五十五分を報じた、驛員が「列車は構內近くに進行し來た」と傳へる

◇

この時、ワッと云ふウラーの叫びが地殼も破れんばかりに轟いた驚の迸しる歡喜の高潮に達した時である、滌々たる白煙を沖して特別列車は靜かにホームに停車した、二隊に分れた管樂隊は一齊にインターナショナルを奏し赤旗は波をうちウラーの喊聲は場を壓した、ドウイ、イズマイロフ、デニソフ、タサリシユトシマノフスキー、ルらは車窓から顏を出して群衆に對しこの光景を瞶つめて感激の淚を流した

一行が特別車から出ると群衆は圍繞して凱旋將軍に酬ゆるの禮をもつて一層ウラレを高唱した代表一行の親しい知己等は強い固い握手を交したばかりでなく或るものゝうちには互にシカと抱擁して泣いたものもある、この劇的シーンは彼等を極度の昂奮に導いた

斯くて一行は支那側の歡迎者に貴賓室に入り着席し紅茶にレモンで十分間程休憩したが、ロシヤ側代表は沈默を守り一言をも發するものがない、緊張した場面であつた十二時半ロシア側代表は蔡運升氏と握手しシモノフスキー、コゾリンの一行五名は勞農總領事館にデニソフ氏等はグランドホテルに自動車で向つたが、驛前大廣場に重なり合つた大衆は此所でもウラーの歡呼の歡迎であつた、支那側は巡警總出で群衆を制したがゴムソールと各所に小競合を爲し二名の巡警は袋叩きになり帽子や靴を奪はれ一名の巡警は鼻血を流してサメザメと泣いてゐた、一行の自動車は雪に深い轍の跡を殘して去り群衆も一部はキタイスカヤ方面に示威行列を成し各自歸宅した、支那側は全く手の下しやうがなく傍觀するばかりであつた、結局支那は東支の原状恢復によつて屈服したのである

日曜閑話 正月とクリスマス

一年は三百六十五日五時四十八分四十六秒といふことになつてゐる。それを暮だ、正月だと騷ぐのが人間である。四時の運行には正月もなく、節季師走もない。唯南子天文訓に「三百六十五度四分度の一にして一歲を成す。日月星辰は甲寅の元に始まる。日に行くこと一度にして歲に奇あり四分度の一なり。故に四歲にして一千四百六十一日を積んでまた故の舍に合ふ」といふ如く天文循環して停止するところを知らぬ。◇

尤も人間が、この世に生れ出て夏だ冬だ、暮だ正月だと、年や月を制定するやうになつたのは、カルデヤ人ではないが、餘程の後世であつて、人文も相當に發達した有史時代に入つてからである。人間が獸類を手なづけて家畜といふものを發明しアラビヤの平野を、春分から北に向つて草を求め、秋分になると寒天の來らんことを豫知して南下したことも、遊牧時代の經濟生活、社會生活でなくてはならぬのである。その時代には、北には北斗の七星によつて大熊星を、南にはサウザン十字星を目あてにしたことであらう。◇

支那にも農といふ字がある。これは天文から援用された象形文字でなくてはならぬ。辰の字に何か供物でも上げたといふところ、支那の漢民族が、中央アジアから數千年かの移動によつて黃河の上流に漢文明なるものを形成し、そこで、遊牧民であつた彼らが肥料といふ大發明をなし、一定の地域に定着するやうになり、耕作といふことによつて農といふことを發明したのであるが、その農耕を營むに當りては春種秋收、天文の運行に期待するところのものが勘少でなく、五風十雨といふやうな觀察を希望するところのものが、つひには神農氏などの特殊な一部落を構成するに至つたものである。神農氏は農業技師であり、彼らは農事試驗所を經營してゐたともいへる。◇

こんなことを考へて來ると、西洋でキリスト教徒が奉仕するところのクリスマスは多至の百姓祭だといふことが明瞭になるであらう多至の祭りは東洋でもあるが、西洋でもある。夏至に對して、一年中の最も夜の短い頂上、日の長い夏の至は、何人も何民族も、餘り多くの注意を拂はなかつたに相違なく。殊に天文を測つてのことであるから、多の日月星辰に於大便を拜することの最も短い多至から、一陽來復といふ新しい天地が開け來るかに願望したのであつた。クリスマスとなり英國あたりの寒い雪國の風景と結び、つひに煙筒から、サンタクロースの翁さんが飛び下り（日本などにマッチを惠贈する格で）に物を入れて贈物とするの風習を生むに至つた。◇

文明は却つて溫帶から寒帶に發生したが、この一年三百六十五日五時四十八分四十六秒を區切つて多至から約一週間を新年の一月と定めるなどは、これ北半球の文明といふべきである。殊に熱帶地方などには、七月や八月などを正月としたこともあり、敢て寒い一月と限つたことではなかつた。太陽曆の民族にせよ、太陰曆の民族にせよとにかく大か小か、それから春分と算定して一月を正月、すなはち新年の初めとしたのは、キリスト教でクリスマスを多至の百姓祭りから變化したやうに、多至から一陽來復といふことに思ひつき、それから新らしい春が積極的に展開するといふところに自然、當然の一致を見たものと思はれる◇

少しく理に落ちたが、秋收多藏して多至、目出たくもあり、目出たくもない節季から正月、これも天文の運行に人間の社會生活、經濟生活を織込んだ人文といふものでなくてはならぬ。（一記者）

人事

▲藤井準三氏(大連署勤務警部)着任挨拶のため廿九日市內各方面訪問
▲高山勝司氏(新任安東警察署長)廿九日轉任挨拶のため市內各方面訪問
▲ジャパンツーリスト青島、上海觀光團一行百四名 廿九日出帆奉天丸にて出發
▲中尾大次郎氏(水上署長)廿九日八時着列車にて來任

天氣豫報

卅日 (晴れ、北西の風時々曇り)

各地の溫度

	十一時	昨日最低
大連	零下 三、三	零下 九、八
旅順	同 一、八	同 九、四
營口	同 六、八	同 一六、〇
奉天	同 七、九	同 一八、〇
長春	同 一〇、一	同 二二、〇

謹告

年末年始における本紙は左の如く休刊することに致しました、惡からず御諒承を願ひます

- 卅日夕刊 (卅一日附)
- 卅一日夕刊 (一日附)
- 一日夕刊 (二日附)
- 二日朝刊
- 三日夕刊 (四日附)
- 四日朝刊
- 五日夕刊 (六日附)
- 六日朝刊・爾後平日に復す

溫き人の情の品々を 淚で受くる貧しき人々

各方面から集つた同情品の山を けふ大連署で分配

樂しいお正月もあと三日に迫つて各家庭では春を迎ふる準備に急がしい今日この頃、お正月の餅はおろかその日の糧にすら窮する哀れな同胞に溫かい同情を寄せ毎日大連署へお金、着物、お米、お餅を各方面から送つたのが同署保安係に山のやうに積まれてゐる、それを廿九日十二名の貧困者を呼出して原田保安主任から手渡したが何れも世の溫かい同情に感泣してゐた

六宮樣が スキー御練習

【東京廿九日發電】秩父宮、高松宮、竹田宮、北白川宮、朝香宮御…

二方の六殿下は廿八日午後十時五十分上野驛發列車で御揃ひで山形縣下五色溫泉にならせられた同地に於いては六華クラブに御滯在スキーの御練習を遊ばされ三十一日午前御歸京年末年始の諸式に御出席遊ばされる筈

秩父宮樣の 懇な御言葉

松平夫妻感泣

【ロンドン廿八日發電】全權顧問樺山伯は今朝改めて松平大使夫妻を訪問し秩父宮同妃兩殿下よりの御懇ろなる御傳言を傳へ御心盡しの御土産物を贈り更に皇太后陛下の有難き思召し御近狀等を物語りたるに對し夫妻は感泣した

わが學生聯合に 獨逸が挑戰

國際學生競技大會の 今夏開催されるを機會に

【東京廿九日發電】昨年八月パリーに於いて開催された國際學生競技大會には我國からも參加し第三位を獲得したが其の第二回大會は昨年八月ブタペストの豫定を變更しドイツダルムスタツトに於いて擧行される事になつたので、日本學生陸上競技聯合では尠くも十名

乃至十五名の選手を送りたいと目下金策に腐心中であるがドイツ側では之を期としベルリンで日獨對抗競技をやりたいと申込んで來た

馴染客を送り 藝妓の自殺

鉛筆で走書の遺書を殘す 原因は男との縺れ

あと三日に迫つた正月を待たずして死を急ぐ哀れな女——廿九日午前十時十分頃逢坂町三田尻樓抱藝妓坂井千代子（二〇）が自分の部屋でゐるを仲居が發見、直ちに桐原醫師を迎へて應急手當を加へたが、多量のリゾールを嚥下し苦悶して生命危篤である、自殺の原因に就いては大連署で取調中だが女の枕邊には鉛筆の走書きにて

何が何んだかわからなくなりました、私はこの世が嫌になりました、皆樣に御心配をかけて濟みません

との遺書があるだけで詳らかでないが、一年ほど前から奉天都ホテル鶴岡某が足繁く通ひ詰め「明年一月には身の振り方をつけてやる」と云つてゐた、二十八日も鶴岡が登樓し二人は深更まで語らひ時々女の忍び泣く聲を聞いたといふが、翌朝鶴岡を歸してから八時十分ごろ自殺を圖つたもので或は鶴岡とのいさかいから女心に死を思ひ立つたものらしい

飯本一味の 瀆職事件

きのふ豫審終決

【名古屋二十九日發電】名古屋地方裁判所で豫審中だつた愛知縣土木部休職經理課長飯本賢太郎外十七名に對する贈收賄事件は二十八日何れも豫審終結公判に移された公判は明年二月中旬の豫定である

日本側でも無論之に異議ないので此計劃は實現するものと觀られる

北海道の 六人組強盜

主人を傷つく

【旭川二十九日發電】二十八日午前二時頃上川郡鷹栖村東鷹栖一貸商保坂德一方へ六名組の強盜押入り家人を針金にて縛し二名は短刀にて主人を脅迫傷害を與へて手提金庫の中千二百圓を奪つて逃走した目下旭川署で犯人嚴探中

許判美人の會

この間、東京會館に美人で評判の奧樣方が集つて、各その身嗜みについて話合つた。何れも苦心の實驗談で婦人方には有益な話、詳細『婦人倶樂部』新年號に發表！

大阪の初雪

例年より十日 寒さが遲れた

【大阪廿九日發電】大阪地方は二十七日來の雨は昨日も降り續き溫度低下し遂に二十八日夕刻に至り雪を交へ本年の初雪を見た、例年に比し一週間昨年よりは十日間何ると

スキー練習中 帝大生凍死す

雪の山中に迷ふて

【長野二十九日發電】愛知縣生れ東京帝大一年太田憲三（二三）は同學生十數名と共に長野縣下發甫溫泉附近にてスキー練習中のところ二十六日山の中に迷ひ込み二十七日は終日雪の山中をさまよひ全身に凍傷を負ひ瀕死の重傷を負ふたのを二十八日未明漸く搜索隊に發見され直ちに醫師の手當を加へたが遂に絕命した

華々しく 南支觀光團

けふ出發す

ジヤパンツーリスト主催の青島、上海觀光團一行百四名は廿九日出帆の奉天丸で同社寳來驚察主任に先導されて出發したが、正月休みを利用した夫婦連れ家族連れの團員も多く埠頭はそれ等の人々への見送り人で賑はつた尚一行は青島上海を見學の上一月五日大連に歸着の筈

旅館舊蹟視察

ジヤパンツーリストビユーロー大連支部の打越辰次郎氏は內地山陰地方面の名所、舊蹟、旅館、溫泉設備等視察のため約三週間の豫定にて三十日出帆の香港丸で出發す

強盜かはた痴漢か

窓口から覗き廻る怪漢・ 追ひ詰められて矢庭に拳銃で威嚇

彌生町界隈に出沒

強盜の目的か、變態性慾者かの每夜のごとく市內彌生町附近に出沒して人家を窺ふ二人の怪漢があり、附近一帶の住民は恐怖に襲はれ、夜を徹して警戒をした事件がこの夏あつたが、當時大連署で

犯人搜查

を行つたが皆目判らなかつた——ところが最近又も件の怪漢が同所附近を徘徊し懷中電燈を照して人家を窺ふので住民は再び不氣味な夜を警戒してゐたところ數日前の拂曉、彌生町三五番地石川南仙方＝假名＝の小窓の下に煉瓦を積み重ね內部を窺ふ怪しの人影あり物音に主人が目を醒ましステツキを持つて賊を追跡した、賊は寺兒溝方面に逃走したが朝日廣場で追詰められ「貴樣は何者だ」と威嚇されるや、怪漢は矢庭にピストルを突きつけて反抗したので石川某氏はその儘賊を見逃した、この事件發生以來

附近住民

の恐怖は一層昂つて來たので同町居住の某氏は二十九日この旨を大連署に訴へ出た同署では時節柄ピストルを所持せるは重大犯罪人との見込みで嚴重搜査を開始した

ヒヤツとさせた 飛行機の離れ業

飛んでる眞最中に 發動機が拔け落つ

千五百呎の高度にある飛行機の發動機が拔け落ちたが無事に着陸したといふ珍しい飛行機の離れ業、所は當地のダヴエンポート飛行會社の飛行場上空、ケケス、ヘンターといふ操縱士が三名の練習生を乘せて飛行機の試驗飛行を行ひ千五百呎の高度まで達した時どうしたはづみかプロペラーがポキリと折れ其の拍子に發動機が外れて飛行場近くの地上に落下し物凄い勢で地中にメリ込んだ、操縱士は少からず驚いたが少しも周章てず三人の練習生に向つて機體の平均を保つために前かゞみになつて居よと命じた。そして悠々とカヂを取りながら聊かの故障もなく無事着陸した【ダヴエンポート（アイオワ州）聯合郵信】

「禮次郎がめづらしい」

若槻全權が留守宅へ手紙 母堂夫人始め一同が大騷ぎ

【東京廿九日發電】筆無精でめつたに家に便りを寄越したことのない若槻全權から廿八日珍しくも留守宅のとく子夫人に手紙が屆いた腰の不自由な母堂なみ子刀自迄が「マア禮次郎がめづらしい」と驚いた位ゐでクリスマスが、度來た樣な騷ぎ、此の最初の手紙はサイベリア丸からのもので內容は至極簡單なもの

◇…横濱出發東京港を出ると海上大分波高く食事中途より船室に引揚其夜より翌々日正午迄は船暈の氣味にて船室に引籠り居たるも第三日より起床以來元氣にて（以下中略）田原は終始元氣にて活潑に働き居り申候有格は拙者と同じく當初は船暈に苦みたるもやうなりしも此處で「織樣ではあまりあつさりして居るぢや御ざいませんか」と一寸夫人がにつこりする

◇…只今十二月十日午前十一時三十分米國の沿岸を航海しつゝ居り申候今夜はカナダのヴイクトリアに寄港明十二日午後米國のシヤトルに上陸と聲高に讀みあげる夫人のそばになみ子刀自首め賴命に聞耳をたてて居たが夫君最初の賴りは之れでおしまひそして

◇…船中の狀況を通報するかはりに別便を以て寫眞を…と結んであつた

武裝した 強盜團

海軍兵站部を 襲ふ

最近ニユーヨーク郊外の海軍兵站部が強盜一團に占領され金庫の中の十七萬二千圓が危ふく奪ひ去られやうといふ如何にもアメリカらしい事件が持上つた賊は十五六から二十人位、いづれも嚴めしく武裝し夜半三臺の自動車に分乘して押寄せた、先づ最初の自動車から現はれた五名が門前の守衛を縛して構內に入るべく一切の必要品を奪ひ取りその男の帽子や徽章を利用して第二の守衛に近づいた、やがてその夜の當直士官クリントン大尉に發見されたが多勢に無勢で同大尉は五名の守衛と共に手足を縛され賊團の爲すが儘に委せることを

餘儀なく

された、賊は悠々仕事に取りかゝり金庫こそ最も金目と見込みをつけ爆發藥や電氣錐を用ひて金庫を開かうとしたが何うしても開かなかつた、五時間もかゝつたが到底ものにならずその內夜明けに間もないとあつて遂に仕事を斷念し悠々として引揚げたすると間もなくクリントン大尉が繩圍を拔け出し警報したが後の祭但し金庫在中の十七萬二千圓がソツクリしてゐたのはせめてもの幸ひであつた（ニユーヨーク發聯合郵信）

偉人を殺した・ ドイツの政爭

血壓學者の新學說

有名なドイツの血壓學者エリユウス・モーゼス博士は最近社會民主黨機關フオルウエルツ紙上でドイツ公人の死の事實に就き次の如き新說を述べて居る

最近物故された外相グスターフストレーゼマン博士並びにドイツ最初の大統領フリードリツヒエーベルト氏共に若し戰後の

苛烈なる

政爭に依りその精力を消耗しなかつたならばまだく生きて居られたに違ひない何れの文明國に於ても政治家の早世すること、ドイツの如きは稀である、エルツベルガー氏が四十八才、ラテノーワ氏の五十四才これ等は何れも不遇の徒の兇手に倒れたので問題にならぬがエーベル氏は五十四歲、ストレーゼマン博士は五十一歲で

物故した

之を八十八歲の長壽を保つたクレマンソー氏や七十九歲で尙國務に盡瘁しつゝあるチエツコの大統領マサリツク氏、六十九歲の高齡で二度の大統領を見事に終へたポアンカレー氏六十九歲で尙フランスの外交を一手に引受けてゐるブリアン氏依然ウエルズの魔術師振りを發揮して居るロイド・ジヨーヂ氏に較べて與半ばに過ぎるものがある、ドイツの政爭は寧ろ

殘忍非道

の感があり如何なる體格の所有者と雖も到底此の苛烈なる政爭に堪へ得ない、政治家はピストルの彈丸と同樣慘酷なる惡の妙計に身も心も打ち碎かれて了ふのである（ベルリン聯合郵便）

東洋一の 淸水隧道

けふから開通

【東京廿九日發電】延長六哩、前後八ケ年の日子を費した東洋一の大トンネル淸水トンネルは愈々廿九日開通する事となつた、同トンネルは單線で中央に列車のすれ違ひの際停車する信號所が設けられるが開通使用は昭和六年九月頃になると、なほ開通の曉は上野、長岡間距離は四分の一短縮され、上野、新潟間は十五時間が十一時間に縮められる

中尾水上署長

着任事務引繼

新任大連水上警察署長中尾大次郎氏は廿九日八時着列車にて來任したが直ちに水上署に到り寺田前署長との間に事務の引繼を行つた尙寺田警視は廿九日十一時三十分發列車にて撫順に赴任の筈

次の長篇小說

元旦號より連載

目下本紙に連載中の小說「愛慾の窓」は好評の裡に近く終結を告げますので、我社は愛讀者各位の御期待に副ふべく現代文壇の寵兒三上於菟吉氏に交渉しました處長篇小說『戀と地獄』の執筆の快諾を得挿畫は肖像畫家中の新進鶴田吾郎畫伯の彩管に俟つ事としました、必らずや大方の好評を博する事と信じます

長篇小說 戀と地獄　作者 三上於菟吉　挿畫 鶴田吾郎畫伯

作者の言葉

僕の暴露文學はこの「戀と地獄」で自分としては尖端を示したものと言へると思ふ。僕はこの一局に現代東京が含む一切の惡しき美と力との渦卷、それに捲き込まれて押し揉まれる小さき淸き幾つかの生命に就いて、出來るだけの描寫を試みる決心だ。僕は讀者の後援が、あくまで素志を貫徹せしめられんことを望む。

注連飾り

暮れの街所見

コドモページ

冬と水道 (下)

地上と地下とは夏と冬が全く反對

冬の理科

一郎。お父さん、地面の中を通つてゐる水道管は、どうして凍らないのですか。

父。それは地下の溫度が凍るほど冷たくならないからさ。

一郎。どうしてでせうね。

父。それは、土が熱の不導體だからで、地上の溫度が零下何度といふ寒い時でも、その寒さは地下に影響することが少い。內地の田舍や水道設備のない都市では皆井戸水を使つてゐるが、冬は井戸水が非常に溫かく感ずるといふのも地下の溫度が地上のやうに下つてゐない證據だ。

一郎。井戸の水は冬も溫かいのですか。

父。井戸の水は夏よりも冬の方が却つて溫かい。

一郎。變ですね。

父。つまりそれは、地上の夏冬と地下の夏冬とが全く反對になつてゐるからだ。

一郎。どうして反對になるのですか。

父。それは、先にも話したやうに土が熱の不導體だからで、熱を傳へることが非常に遲いため、地下三メートル位のところでは地上の夏の暑い溫度が漸く十一月頃になつて達し、冬の寒さが五月頃になつて漸く達する。從つて地下の夏は十一月頃で冬が五月頃といふことになるわけだ。

一郎。三メートルよりももつと深いところの溫度はどうなりますか。

父。それは、場所や、土地の性質によつて一樣ではないが、十米乃至二十米の深さになると一年中全く同一の溫度でそれからだん／＼深くなればなるほど溫度が高くなる。

一郎。それはどうしてですか。

父。地熱のためだ、地球のまん中は實に想像も出來ないほどの高い熱度で、地下二十米突以上になると地球の表面の溫度の影響は受けないで地熱の影響を受けるのだ、從つて井戸の水も深ければ深いほど溫度が高いわけだ。

一郎。水道管は隨分深いところを通つてゐるのですか。

父。先づ地上から一米半位のところに埋めてある。それで地上の溫度の影響を受けることが少く地上の溫度よりも遙かに溫かい。

一郎。それで地面の下の水道管が凍らないのですね。

父。それで、よくわかつたらう。

モウ 三ツネルト、オシヤウグワツ　ヨイ オトシ ヲ ムカヘマセウ

コトシ モ、アト ワヅカ ニ ナツテ シマヒマシタ。モウ 三ツ ネルト、ミナサンノ、タノシミニ シテヰル オシヤウグワツ ガ キマス。三十一ニチ ノ ヨル ジヨヤノカネ ガ「ゴーン」ト ナツテ、ヤガテ ウツクシイ ハツヒ ガ、オヤマ ノ ムカフ カラ、サツト カホ ヲ ダス コロ ニハ、ミナサンハ 一ツヅツ オニイサンニ ナツタリ オネエサン ニ ナツタリ シテヰマス。

ミナサン ハ、ガクカウ ノ センセイヤ、オトウサンヤ、オカアサン ナドト オシヤウグワツ カラ マモル コト ニ ツイテ ナニカ オヤクソク ヲ シマセンデシタカ。

「ボク ハ オシヤウグワツ カラ ニツキ ヲ ツケマス」「ワタシ ハ オカアサン ノ オテヅダヒ ヲ、シマス」「ボク ハ ムダヅカヒ ヲ シナイコトニ シマス」「ワタシ ハ ハヤオキ ヲ シマス」ナド イロイロノ オヤクソク ガ アリマセウ。マタ「ワタシ ハ ライネン カラ モウ ナキマセン」「ボク ハ イモウト ヲ イヂメマセン」「ボク ハ オトウト ト ケンクワ ヲ シナイデス」「アタシ ハ ゴハン ヲ コボシマセン」ナドト イフノモ アルカモ シレマセンネ。

トニカク ミナサンハ オトシ ガ 一ツヅツ ヨケイニ ナルノデス カラ、コトシ ヨリモ 一ソウ オリコウニ ナラナケレバ ナリマセン。ソシテ ライネン ハ ウマ ノ トシ デスカラ ウマ ノ ヤウ ニ ゲンキ ニ ナリマセウ。

コドモページ モ コトシ ハ コレデ オシマヒ デス。ライネン マタ オメニ カカリマセウ。デハ ヨイ オトシヲ オトリナサイ。サヨウナラ…

兒童の作品

日本と支那
常盤小學校三年　中村一馬

ぼくはストーブのそばで、にいやんと支那がよいか、日本がよいかと、いひやいをしました。にいやんは「私はしながよい」といひました。僕は「日本がいい」といひました。にいやんは「支那なんか國が大きいから、へいたいもたくさんをるぞ」といひました。僕は「支那なんか三大強國にはいらんからだめだい」といつて、げんこつで机をなぐりました。にいやんは白ぼくを持つて來てこれが支那之が日本といろ／＼書いて「はじめに朝せんをやつつけて日本やつつけて、いろ／＼な國を後でやつつけてしまふ」といひました。僕は「そんなことがあるもんか、日本は支那をたすけてやつてるんだぞ」といひました。にいやんはすゐじ場ににげて行きました。

スケートグツ
沙河口校一年　高木正

キノフ ノ バン ニ スケートグツ ヲ カツテ イタダキマシタ。ソシテ アサ オキテ ミマスト スケートグツ ガ アリマシタ カラ ハイタラ トツテモ ウレシイカツタ ノデ ソノ クツ ヲ テ カラ ハナシマセンデシタ。

ナガグツ
沙河口校一年　內藤滿夫

ボク ハ オトウサン カラ ナガグツ ヲ カツテ モラヒマシタ。ボク ハ ウレシイカツタ。ボク ハ アサ ソノ クツヲ ハキマシタ。ソシタラ チヨツト オホキカツタ。ソシテ ソノ ナガグツ ヲ ハイテ ガクカウ ニ イキマシタ。

オマンヂユウ
沙河口一年生　山下信義

キノフ ノ バン ボク ノ オトウサン ガ コウジヨウ カラ カヘツテ キテ サンパツ ニ ユクツテ ユツタカラ「オトウサン。チヨツト マツテ サンパツ ノ カヘリガケ ニ オマンジユウ ヲ カツテ キテ チヨウダイ」ト ボク ガ イヒマシタ。ソシタラ スグ モツテ キタカラ ヨロコンデ オマンヂユウ ノ ソバ ヘ イキマシタ。

タンジヨウビ
大廣場小學校一年　藤田信子

ワタクシノ オタンジヨウビハ 十一月二十五日デス。二十五日ハ 月エウビデシタカラ 二十四日ノ日エウビニ オイハヒヲ シマシタ。ハヤシヤウコウニ デンワヲカケテ オセキハンヤ カステーラヤ オヤウカンヲ カツテイタダキマシタ。オネエサンガ チヨガクカウデ オナラヒシタ オゴチサウヲ タクサン コシラヘテ クダサイマシタ。ノブコハ ウレシクテ タマリマセンデシタ。ミヤコサンヲ ヨビニ イキマシタガ オルスナノデ オトナリノ ミチコサント オムカヒノ キミコサンヲ ヨンデキマシタ。オムカヒノ オバサマモ イラツシヤイマシタ。モウ テイブルニハ オゴチサウガ タクサン ナラベテアリマシタカラ ミンナデ オイシク タクサン イタダキマシタ。オゴチサウガ スンダアトデ オユフギヤ オシヨウカヤ、オハナシナドヲシテ オバサマニ オ目ニカケマシタ。ホントウニ ウレシイ オタンジヨウビデシタ。

イモウト
常盤小學校一年　鶴岡好子

ウチノ イモウトハ カハイイデス。私ガ ベンキヤウシテル トキモ マネシテ ホンヲヨム マネヲシマス。オナカガ スクト オチチヲノンデ ネテシマフ。マタ オキテキテ 私ノ セナカヘ スガリツク。ワタクシガ アソビニ ユクトキハ ナキダシマス。

ポプラのすもう
大橋場小學校尋二　柴田正一

ポプラの葉つばを
とつて來て
赤くてかはいい
くきのとこで
ポプラのすもうを
とらせます
僕もふといの
とつて來て
まけたりかつたり
してるうち
お手々がいたく
なりました。

子犬
嶺前小學校三年　田邊ふみ子

おかし　ほしがる
子犬さん
ちん／＼おしなと
いひますと
ちん／＼しては
ころびます
ビスケットほしいか」
子犬さん
いくらないても
だめですよ
これは　おあづけ」
わん／＼／＼
お目々くる／＼
子犬さん
「よし」といふまで
だめですよ。

白墨の粉

▲下藤秋月兩校の校長異動、公學堂長任命、訓導の異動及公學堂視學の異動は歳末の初等教育界を一寸賑はせた。▲下藤の新校長古川君は年次から言つても人物から言つても先づ非難のないところ、しかも八面玲瓏の小林君を首席に持つて行つたところ頗る妙、定めしいゝ學校が出來るだらうと今から評判がよい▲松林校中川君の旅順第二小學校へ轉勤は動機から見て先づ榮轉と見るべきもの▲秋月の堂長は本紙の既に豫言した通りやつぱり旅順師範學堂の中田君に白羽の矢が立つ▲昭和四年の學校異動も之を以て目出度く大團圓か

新刊教育書紹介

▲愛兒と家庭(一月號) 表紙は例によつて手島氏の筆、記事には家庭訪問記學習指導記事等の新しいものゝ外、いつもの顏觸れの人々が筆を執つてゐる。岡山良之助氏の「牛溲馬勃」は最も面白く讀んだ(廿五錢、大連教學會)

冬のスポーツ

—【賑ふスケート場】—

各學校は二十五日から一齊にお休みになつた。

◇

休みになつたら思ひ切り辷つてやらうと、大小のスケーターがスケートにヤスリをかけて待ちかまへてゐると、意地惡くもその日からあの暖かさ。

◇

池の氷が、滿遍なしにドロ／＼溶けるのでスツカリしよげ切つてゐると、一昨日あたりから又寒さが盛返して來てスケート場のコンデシヨンがよくなつた。

◇

かくて鏡ケ池や、彌生池や、兒島製氷裏のスケートリンクは得意さうにスイ／＼と辷るもの、ホッケーに興ずるもの、辷つてころぶもので大賑はひ。

◇

こゝしばらくはスケートの世界である。

【寫眞＝右は鏡ケ池、左は兒島池のスケートリンク】

平安異香 (214)

葉多默太郎作　一彌畫

奔流（二一）

「その、お大將、斷がぢつと此方を見てゐると思ふと、輿に附いてゐた侍が四五人、ばらばらと河原へ下りて來て……」

と、與惣は一變して使廳の捕吏の顏で、話してゐるのがからつげつの勘兵衛、聞いてゐるのは異仕源八郎だつた

「その侍が、今引つ括つたばかりの春光と幸を渡せといふ。お前さん達はどなた樣で——ときくと、名前は聞くに及ばぬ、心配せずに引渡せ——といやがる。そつちは及ばなくても、此方は及ぶんだ。召捕者を名前も聞かずに渡してたまるものか——とたんかをきつてやると、いゝんだよくくと、人を子供扱ひにしやがる。そのうちに高倉さんが遠に目をしよぼしよぼさせるんで、何の呪禁だといつてやると、高倉さんが小さな聲になつて、どうも別當の乘物のやうだぞ——といふんだ。びつくりして乘物を見ると、見覺えのある輿だ。が、さうだとはいはない。權柄づくで、うやむやに連れて行つてしまつた。死んでも渡すんぢやなかつたと、今では思つてゐるんだが、その時には誰も文句が云へなかつたんです」

「へえ、そりやもう——連中は東山の勸修寺邸へちやんと入つてゐる。あつしの眼附けてゐるのを知つてゐたから、知らぬ顏して行ゐやがる。捕吏の下つ引の眼が何をどう見たつて——といふ向ふの肚なんだから憎ねエつてありやしない」

「さうか、まあいゝや」

「おや、このまゝしつとしとくんかね」

「別當はまだあの女に未練があるのだらう」

「だつて、お前様……」

「まあいゝ——あのお方に渡したんでなし。何か別當にも思惑がありなんだらう」

さういつて、源八郎は口惜しがる勘兵衛にとりあはなかつた。

が、あと役も町へ出る筈だつた源八郎が、氣分が惡いといつて豫定を變へ、ごろりと横になつたのを見た時に、大狹口ではあんなにいつてたが、氣にしてゐることは氣にしてるんだ——と勘兵衛は考へた。

勘兵衛の下つ引が灯を持つて來た時、源八郎はつむつてゐた目を開けて、

「もう、そんな時刻か」

といつた。

「湯漬を一杯食ひたいが、食へるか」

そして、湯漬を食ふと、帶を締め直してぶらりと出て行つた。

檢非違使廳の長官である勸修寺師輔の館傍に疑ひを抱いてゐた源八郎は、勘兵衛の話を聞いてゐる裡に、それは女ばかりの問題ではあるまいといふやうな氣がした。

却つて春光がその目的物ではあるまいかと思ひ、或は既に、大惡山の輩と提携が出來てゐて、今度の運動に、ひそかに援助してゐるのではあるまいかといふ所まで、疑心が伸びて行つた。

とにかく、少し手を入れてみよう——

源八郎は町をぶらぶら歩いて、日の暮れきるのを待つて東山の勸修寺邸の塀外に立つた。

勝手はよく分つてゐる。奴袴の股立を高くして、布衣の袖を背に結び、懐中に忍ばせた繩をとり出して投げると、一丈ばかりの築地の屋根にかつきとかゝる。

星明りに木下闇の蔭ひ、繩を掴み、繩を頼りについてタタツと一氣に駈のぼる。次の瞬間には屋根に手がかゝつてゐる筈の源八郎が、どうしたのかタツと塀面を蹴つてもんどりうつて地に立つた。同時に上から落ちたものがある、落ちると同時に鞠のやうにはね上つてきらつと、星にきらめく閃光だ。

「うぬ！」

と源八郎、かはして、敵の腕を掴きこみ、足搦みにねぢ伏せた。

「誰だ、名をいへ」

しかし曲者は答へない。

源八郎は曲者の體つきを手で探つてゐたが、何か思ひあたる事があつたらしく、俄に手をゆるめて

「危いではないか。氣をおつけなさい」

いつて立去らうとした。と、

「お前さまは、源八郎どの——」

驚いたやうな女性の聲だつた。

發聲映畫の 大日活（六） 正月映畫陣

常盤座と共に新館を擁して大連映畫界に雄飛せんとする大日活は一九三〇年の滿洲映畫界の尖端をゆく意氣込みでパラマント社と提携して發聲映畫への進出を計畫しシネホーン發聲映畫裝置機と技師を招聘し第一週より發聲映畫を上映しトーキーに對する興味を要ると共に日活作品は人氣俳優を中心に特作品を揃へて堂々たる陣容を張つてゐる、第一週は佐々木味津三原作志波西果監督大河内傳次郎伏見直江主演の「謎の人形師」を内地と同時封切し發聲映畫はパラマウント社の特作猛獸映畫でリチャード・アーレンとフェイ・レイ嬢共演の「四枚の羽根」を組み動物映畫を愛好する大連のファンにサウンド・ピクチュアで動物の鳴聲等を聽かせて絶對的な興行成績を狙つてゐる。第二週は花形俳優として人氣の頂點にある片岡千惠藏主演の「愛染地獄」第一篇と日活の本年度秋季特作品としてヒットした村田實監督の移動派文藝映畫社同人合作の「魔天樓闘爭篇」を組み前者は花柳界方面に後者は映畫ファン方面の景氣を煽つてゐる第三週は「愛染地獄」の第二篇を引續き上映しトーキーはハロルド・ロイド主演の發聲映畫「危險大歡迎」を以て大々的に呼びかけてゐる第四週以後の番組も全部決定し出來るだけ各週とも輕い一卷乃至二卷物のトーキーを添物として優秀番組と共に發聲映畫を呼び物としてゐる、尚正月第一週に限り毎日午前十一時から開館して竟夜三回興行である【寫眞は謎の人形師】

喜樂會入場料 一行卅一日來連

田宮米峰、秋月源之助の喜劇喜樂會一行が歌舞伎座の初春興行に出演のため卅一日入港のばいかる丸で乘込み元日より華々しく開場するが、入場料は特等二圓、一等一圓八十錢、二等一圓三十錢、大衆席七十錢、小人五十錢均一で場所取りは年内から受付けてゐるが前景氣頗る盛であると【寫眞は田宮米峰】

青年會館で 正月映畫會

大連基督教青年會では、明年新春一日より三日間大連エクラン社同人主催、青年會後援で上映々畫はメトロ、ゴールドウイン超特作シエストローム監督、涙の女優リリアン、ギツシユ主演で、ナザニエルホーソン不朽の名作「眞紅の文字」及び同じくメトロ社の大戰映畫、ニール・ハミルトン、メイ・マレー主演「陶れ吾家」の二本であるが、二本とも映畫として本格的の物であるから新らしい人々の好評を呼び、相當の成功をおさめるものと見られて居る

酒井雲の讀物 大劇正月興行

大連歌舞伎場の初春興行を飾る文藝浪曲の創始者酒井雲一行は酒井金時橘右近中川鯉昇酒井東風酒井雲丸その他の花形若手を揃へ來る三十一日入港のはるびん丸で乘込み元旦より開演することになり浪曲愛好者から非常な期待を以て迎へられてゐる、五日までの重なる讀物は左の如くである

▲初日酒井雲（本能寺、蛇腹の金太）酒井金時（太刀山）橘右近（第六稻荷）中川鯉昇（淀川花丈——三日まで）

▲二日目酒井雲（眞知、深川情話）酒井金時（所作と名馬）橘右近（一豐の妻）

▲三日目酒井雲（坂崎出羽守、深川情話）酒井金時（直弼と雲井）橘右近（忠僕の仇討）

▲四日目酒井雲（恩讐の彼方、深川情話）酒井金時（文七元結）橘右近（武士の娘）中川鯉昇（藝妓の誠）

▲五日目酒井雲（加籠幽靈、嗚呼無情）酒井金時（女大學）橘右近（小牧山昔物語）中川鯉昇（出世の春駒）

今年の演藝界は芝居らしい芝居もなく僅かに各種の演奏會と浪曲で賑はつた位のもの▲映畫界は問題の大日活が許可されて先づ新裝成り次いで常盤座が落成した▲二館ともに興行場取締規則によつたもので大連映畫館改造の第一歩を踏み出した年であつた▲それに大小の機謀術數が行はれ現在尚繼續中のものもあつて來年へ持越す▲さて一九三〇年の映畫界はトーキーの夜が明けそうであるが正月興行の軍扇は何處へ▲帝國演藝館、大日活が第一週だけを晝夜三回興行をする▲けふで暇話も今年はお終ひ、皆さん良い歳を迎へて下さい。

買物ニュース

▲常盤橋側の天滿屋ビル内に十四日からデワーホースが開店された、美酒紅燈、それに美人を配して評判を呼ぶ

▲新裝成つた常盤橋側の偉觀八層樓の天滿屋ホテルは愈々一月五日開業することになつた

滿洲日報
滿蒙　一月號　廿八日出來
發行所　大連市紀伊町　社團法人中日文化協會
滿洲之社會政題　社會研究　元日號
◇勞農ロシア觀
◇議會政治の社會的非難
◇植民地の社會事業
◇英國の産業福利施設
◇家賃問題と住宅政策
◇大連名物の露天市場
◇滿洲警官後援會
◇兒童施設の健康相談所
◇蒼白き武士道
發行所　滿洲社會事業研究會
飾裝と家具は氣のきいた
カーテン　敷物　ブラインド　リノリューム　壁紙　其他
滿蒙工業會社
醫療器械商　合資會社　村谷洋行　振速町一丁目　電話五六五三番
日下齒科醫院
內科專門　安富醫院
正隆銀行　頭取　安田善四郎
文藝春秋
新年特輯號
△「文藝春秋」新年號一冊買ひ添へて、貴下の歲暮迎年の買物全からん
性と產　座談會
出席者　氏原佐藏　正木不如丘　高野六郎　丸木砂土　馬島僴　中村武羅夫　高田義一郎　佐佐木茂索　竹內茂代　菊池寬
◇世の中は如何に成り行く……德富猪一郎
◇宇宙に關する知識……橫山又次郎
◇巴里の大杉榮氏……佐藤紅綠
◇東西ほくろ考……堀口九萬一
特輯讀物　毛利元就　菊池寬
◇帽子・女の帽子……工藤直太郎
◇ラグビー爐邊雜話……村山仁
◇スキー登山……河上壽雄
◇島田峴山の卷……流泉小史
久米正雄　歸朝座談會
創作
ラガド大學參觀記(小說)……牧野信一
故鄉の話(小說)……瀧井孝作
彼女等こ道(小說)……川端康成
ボア吉の求婚(戲曲)……中村正常
父を語る(小說)……里見弴
どつちがどつちか(早稻田と慶應、濱口と犬養、朝日と每日その答は?)
勝負事・遊びの話(新らしい遊び事は何でも分る是非新年に試み給へ)
誰にも話さなかつた話……八諸氏
新聞紙批評の必要……小泉信三
或る自殺者の手記
捕物遺聞
生きた幽靈
白馬
◇軍縮會議の研究
人生何が一番面白い?
隨筆廿名家
文藝時評……谷川徹三
司法權獨立の教訓(大學法上)……大森洪太
特價五拾錢(四百頁)
東京市麴町區內幸町大阪ビル　文藝春秋社發行　振替東京一七六〇三番
新年附錄　モダン百語辭典
(日本語か?英語か分らなくなつたモダン語を誰れにも解り易く說く。)
△「文藝春秋」新年號以外に一九三〇年の新年號なるものなし(こ言ふこ少し誇張だが)
帝國海上火災保險　安田經營
國際運輸　保險部
大連山縣通ノ八用期間中ハ右店舖へ　電話三一一五
御嬢樣の一番喜ばれる贈答品
フランス刺繡羽子板
スマートな圖案たくさんあります
まるひ屋
家庭用として幽雅で實用向の
各種製造販賣　日支公司
感謝あるのみ
良品廉價の旗高く出荷數は月毎に増しに増したこの一年、顧みて唯感謝あるのみです!
報恩の明年を飛躍の舞臺に愈々益々良く廉く!
品質本位　花王石鹼(カオーセッケン)
東京　花王石鹼株式會社長瀨商會
壽納谷合名會社
資本金　壹億圓(全額拂込濟)
積立金　壹億八百五十萬圓
本店　橫濱市
支店出張所
橫濱正金銀行大連支店

三全權鼎座して ロンドンで初會議
根本對策に就いて協議

【ロンドン廿九日發電】若槻、財部兩全權は午後三時半から六時迄松平大使を加へて初會議を行つた大使は今日迄の日英豫備交渉の經過を詳細に報告し、英、米、佛、伊關係についても情報を傳へ腹藏なき意見の交換を行ひ根本對策を協議した

マ英首相と我全權の會見期
一月十五日頃の豫定

【ロンドン廿八日發電】英首相マクドナルド氏の避寒旅行は來春一月十四日に終る事となつて居るため若槻全權は同首相との初會見は一月十五日頃に行はれる筈である、一部ではマ首相が先般の訪米旅行から歸國して以來元氣なしと心配して居る向きもある同首相の元氣が稍沈して居る事は事實であるが健康を害した程度ではなく、マ首相は飽く迄來るべきロンドン軍縮會議を畢世の大事業として全力を傾倒する意向なる事は疑ひない

バッキンガム宮殿に參內

【ロンドン廿八日發電】若槻、財部兩全權は本日バッキンガム宮殿に參內し英國皇帝陛下に御挨拶申上げた、陛下は目下サンドリンガムに御靜養中のため訪問錄に署名して退下した

陣容の一部變更さる
全權の到着で

【ロンドン廿八日發電】全權一行の着京により我陣容に一部の變更を來し堀參事官は若杉一等書記官等を以て情報部を設け齋藤情報部長は若槻全權專屬となつて會議は勿論會見に於ける一切の通譯を擔任する事となつた今の處全權等はホテルで事務を執つて居るが取急ぎ事務所を新設する筈である事務所はグロヴナー、スクエーア十番地の松平大使官邸向側で一月五日迄には準備完了の筈である

松平大使の晩餐會
日本料理で

【ロンドン廿八日發電】駐英松平大使は本夕若槻、財部兩全權並に財部夫人を大使官邸に招待し非公式晩餐會を開いた松平大使夫人の心盡しの日本料理と生粹の日本酒に一同は打寬いで旅情を慰められた

ウ氏財團賞金

【ニューヨーク廿八日發電】前大統領ウイルソン記念財團は本日氏の誕生記念日に際し千九百廿九年度同財團平和賞金を國際聯盟に與ふべき旨を發表した、即ち同聯盟は過去十ケ年に亘り世界平和に寄與したる偉き奉仕に對して與へら

重光總領事南京行
公使問題交涉

【上海廿八日發電】重光總領事は廿八日の夜行で南京に行き一月一日の國民政府最初の新年祝賀式に參列する事となつたが、重光氏が豫定を早め南京に行くのは小幡公使のアグレマン督促につき王正廷氏と交涉を行ふためだと信ぜられて居る、然し總領事は此の推測を否認して居る、支那側では重光總領事の南京行きが早きは小幡問題と見反對氣勢を强調して居る

我國の銀行數
九百七十五行

【東京廿九日發電】大藏省の調査によれば我國銀行數九百七十五行で前年末に比し百四十三行の減少である

領事裁判權の撤廢は尚早
特殊權利は保持せん アメリカの肚裡

【ワシントン廿八日發電】最近支那の領事裁判權撤廢計畫につきアメリカの態度は依然これを尚早とし條約上の特殊權利は之を保持せんとの肚である事がわかつた米政府の考へでは、支那が殊更にこの條約による權利を犯す事は豫想されぬが、支那當局が支那の法律を勵行せんとすれば內地においては相當面倒な問題が增加するであらうが支那の主要都市に於いては事實上何等の變化もないと見て居る

佛の軍艦建造案
下院で承認した內容

【パリー廿八日發電】佛下院は本日軍艦建造案を承認したが、その內容は左の如くである

一、一萬噸級巡洋艦 一隻
一、驅逐艦 六隻
一、一等潛水艦 六隻
一、水雷布設潛水艦 一隻
一、水雷布設艦 一隻

尚右につけ加へて布設水雷、魚雷其の他軍需品の充實計畫も含まれて居る而して右計畫はロンドン會議の情勢如何に係らず直ちに實行さるべきものである政府の企圖する處では右と同程度の海軍費を今後年々繼續支出し千九百四十三年迄にフランス全海軍の新勢を實現せんとして居る此の企圖が遂行されゝばフランスの海軍は

一、戰艦 十七萬五千噸
一、一萬噸巡洋艦及びその他の水上補助艦 三十九萬噸
一、潛水艦 九萬六千噸
一、航空母艦 六萬噸

を含む譯である

防備費も通過

【パリー廿八日發電】フランス下院は國境防備費廿億フラン及び防空費四億フラン支出案を通過した

政局推移と野黨觀測

【東京二十八日發電】議會も年內解散を行ふことなくして休會となり政界もホッと一息の態であるが年內解散の行はれなかつた事は政界及び各方面共何れも解散を希望せぬ事が主因を爲し其他政友會が主戰的態度に出でなかつた事政府與黨に於てまだ解散斷行の機運が熟してゐなかつた事などが主因を爲してゐるやうである、而して政友會側の見る處では政府が遂に年內解散を斷行し得なかつた原因は小橋前文相に關する疑獄事件の進展に在り即ち小橋氏の起訴につき檢事局と司法首腦部との間に意見の疎隔があり之が政府をして解散斷行の決意を甚だしく鈍らせたものであると云ふにある、從つて政友會の觀測に依れば今後小橋氏事件の進展は政局上に意外の波瀾を卷起し司法首腦部が檢事局を壓迫し得れば兎も角小橋氏の起訴は遂に政府をして自滅の外なき窮地に陷いれるであらうと其成行に注目してゐる

政權讓り渡しの根本問題は年內に決定
中央派遣員や山西系要人ら太原で重要會議

【北平廿九日發電】吳稚暉、何成濬氏等中央派遣員と閻錫山氏並に山西系を中心とする山西系要人との重要會議は三十日太原に開會、年內に政權讓り渡しの根本問題を商議し年內にはほゞ決定すべしといはる

飽迄解散斷行方針
政務官會議決定

【東京廿八日發電】本年最終の政務官會議は廿八日午前十時より首相官邸に開會されたが席上俵山商工次官は商工審議會の產業合理化答申案につき詳細說明して之が實行方法として有力な中央機關新設の意向を開陳した尙政局につき懇談の結果飽く迄解散斷行の方針を持して進む事を申合せた

農相、首相を訪ふ
產業合理化機關設置で 第二回會合には首相も參加

【東京廿九日發電】町田農相は二十九日午後二時濱口首相を官邸に訪ひ產業合理化機關設置に關する具體案は商工審議會の答申に基き作製された俵商相案により廿八日井上藏相、俵商相と會合し第一回の協議をしたが廿九日正午更に俵商相と會見したと報告し、解禁後政府の施設につき意見を述べて、產業合理化機關を設置する時はその目的を能率增進、輸出獎勵其の他產業振興策を含む廣汎のものとしたいと希望し新春早々井上、俵兩相と第二回會合を行ふ筈と意見を述べたがその結果、第二回の協議には濱口首相も參加する事となつた

國際列車で戰線突破の記(七)
官憲の威力も利かぬ 露男女の甘い痴話
電話口で一行が大焦れのここ
神藏特派員

二十一日愈々最後の日が來た、米國領事ハンソン氏から電報で「準備を整へて再び決行する筈につき一先づ引揚げよ」と來た、領事團の命令なら又何をか言はん、早速支那側に通告する、滿軍長は病氣の爲め姜諮議を代理に派遣して來た、機關車が連結される、見送りの兵隊がずらりと並ぶ、ゴトンと發車しようとした時、電報係官が哈爾賓から電話だと云ふ、發車を遲らして電信室にと駆けつける、さア大變だ又引揚中止命令かも知れぬ、所が電信室に行く間に電話が切れてしまつた、哈爾賓を呼び出すけれ共どうしても出ない、

◇齊々哈爾から先が通じない、三十分も待つたが出ない米國副領事が札蘭屯で調査することがあるから日のある內に行かねばならぬと駄々を捏ね出した、然し此方はどんな重要事件かも知れぬから是非聞かねばならぬ、停車場司令官が飛んで來て電話係を叱りとばすが線がふさがつてゐるのだから仕方がない、停車場司令官が眞紅になつて怒り出した、「一體どんな話をしてゐるのか聞いて見ろ」との嚴命だ、電話係が耳を澄まして聞いて見ると哈爾賓の男とチチハルの女と話してゐるがどちらもロシア人で男は醉つてゐるらしいと正直に云ふ、司令官が今度は

◇電話機を耳にあて、チチハルの停車場司令官に電話をかけて曰く
「あれ程至急だと云つてゐるのに何故つながぬ、こちらは外國の領事が話すのだ。一時間電線を占領してイチャつくと云ふ法があるかすぐ切つてしまへ」
と、それでも其會話は續けられてゐる、とうく待ち兼ねて一同どんな電話だらうと心配し乍ら午後五時に札蘭屯についた、早速哈爾賓に問ひ合せて見ると別に用事はないが引揚電報を打つたがついたかと云つたのだと、それならあんなにヤキモキするのぢやなかつた、札蘭屯では昨日齊々哈爾に歸つた筈の趙尹が滯在してゐた、一同司令部まで茶菓を差上げたいからお越し下さいとのことだつたが、此方は忙しい用事がある、殘念乍ら斷つて當地で

◇唯一の邦人 藤田氏を訪ね樣々を聽く、札蘭屯は支那軍の退却當時掠奪があるだらうとて商人は皆財產を地下室に入れたが幸ひ何事も無かつた、博克圖、海拉爾其他で掠奪した品物を盛に賣りに來たが後難を恐れてあまり買つたものが無いと避難所は一時殺到したが今はめつきり減つてゐるロシア人は海拉爾、三河、博克圖方面から七百人許り避難して來たが大抵家畜をつれて來てゐるので捨値で賣り飛ばして哈爾賓方面へ赴いた、今では田舍に二三百人居る許りである

滿蒙色橫溢
新春の滿日紙

昭和五年、新春の滿日紙は勅題「海邊巖」をオフセット版グラフィックにて竹の園生の御繁榮を壽ぎ奉ると共に新進作家三上於菟吉氏の「戀の地獄」(鶴田吾郎氏挿繪揮毫)の封切り、滿蒙色を橫溢さすべく左の諸大家の執筆を煩はし讀者各位の要望に奉仕することになりました。

新春號執筆者(順序不同)

石本鏆太郎氏 田中千吉氏
兒玉秀雄氏 吉田辰秋氏
森本四治郎氏 畑英太郎氏
實吉吉郎氏 田中定吉氏
渡邊軍醫部長 石射猪太郎氏
松田源治氏 太田政弘氏
仙石貢氏 大平駒槌氏
井上準之助氏 貝瀨諸吾氏
中西敏憲氏 倉賀野晋氏
石森延男氏 中澤不二雄氏
岡部平太氏 大塚幹一氏
富永能雄氏 森富男氏
宗光彥氏 小林胖生氏
中尾國次郎氏 仙波久良氏
若竹又男氏 伊澤信一氏
升巴倉吉氏 島野三郎氏
井手正壽氏 竹內克巳氏
本間久吉氏 伊藤清造氏
大村卓一氏 池田季藏氏
安藤忍氏 篠原忠男氏
瀨谷佐次郎氏 中谷政一氏
山田武吉氏 八木沼丈夫氏
稻葉亨二氏 橋本八五郎氏
高津敏氏 大野斯文氏
芥川光藏氏 日向保良氏
小谷百合子氏 今西ツネノ氏
辻忠治氏 石原巖徹氏
井田灤三氏 南次郎氏
今村武志氏 加藤明氏
石田謹助氏 野田蘭水氏
高橋武夫氏 高見三吉氏
霍出忠雄氏 橫田多喜助氏
伊藤久太郎氏 加藤敬三郎氏
森廣藏氏 鈴木嶋吉氏
來栖健助氏 土方久徵氏
村井啓太郎氏 神成季吉氏
長田節氏 小倉圓平氏
今尾松翠氏 谷山知生氏
馬場鐵一氏 川口四郎氏
石田吟秋氏 伊藤順三氏
宮本卿芳氏 塚本孝氏
紙谷鶚太郎氏 平島信氏
小坂準三氏 眞山孝治氏
坂本高氏 山西恒郎氏
宮尾舜治氏 西山勉氏
高橋勇氏

露支正式會議開始の準備的協議を終る
張學良氏の諒解を得て全權一行昨夜離奉し吉林へ

【奉天特電二十九日發】シマノフスキー、蔡運升氏等露支交涉全權委員一行は本日午後四時より北陵別莊に於ける張學良氏の正式歡迎晚餐會に臨みたるを最後として正式會議開始に對する準備的協議及び兩國交驩促進等の來奉の目的を大體達したので今夜九時二十分發列車で離奉、吉林に向ひ張作相氏と會見し張學良氏に對して爲したと同樣の報告を爲し諒解を求むる筈である

國境守備が撤兵後の問題
東部線から歸哈した澤田中佐の視察談

【ハルビン發】東支東部線を視察し去る廿六日歸哈した澤田中佐は最近の狀況に就いて

露支紛爭も行く處まで行つて落ちついた、會議の結果によつて傳へられる處では國境の露支兩軍は三十里內に双方共撤退するとのことだが、ポグラ、滿洲里黑河等には露支抗爭前にも支那は

守備兵を配置してゐたのであるから其の點をどうするか其れをも若し撤退するとなれば如何なる結果が來るであらうか自分のポグラに到着した時は蔡運升氏が哈府を出發したとの報があり軍隊はまだ撤退はしてをらなかつた、下城子で丁超司令と逢つたが「和平裡に交涉は成立しこれで戰爭もなく無事に濟んで結構だ」と語り祝盃を擧げてゐた程で後退することは何とも言はなかつた、從つて撤兵の時期は別に定められるのではないかと想ふ

支那側の公報によると呼倫貝爾は遂に委員制を採用し獨立政府を組織したとあるが、西部線は東部と異り撤兵問題に就いても面倒があらう、果して呼倫貝爾政廳が獨立したかどうかは判らぬが、獨立するとしても露支いづれかの庇護を受けねば問題にはならない、ロシヤとしては勿論關係がないと聲明すれば支那は

討伐の軍を出すのは必然である、從つて獨立は到底できまい唯從來よりは支那に對して權利を主張する程度に終りはせぬであらうか、但し外蒙と聯盟し持久戰の形となれば問題はさう簡單には行かぬかも知れぬと。

岡前滿鐵理事けふ引揚げる

去る二十二日退職せる前滿鐵理事岡虎太郎氏はいよく家族を引纏め三十日午前十時出帆の香港丸にて東京に引あげる事に決した

人事

▲田畑文氏(長春學務部) 轉任挨拶のため廿九日市內歷訪
▲山西恒郎氏(撫順炭礦長) 廿九日八時半着列車にて來連ヤマトホテルへ

安樂椅子

トルコ大統領ムスタファ・ケマル・パシャは今度養子を貰つた。ケマル養女は既に五人もあり何れも革命戰爭で遺された將校の娘▲第一養女のネビレ・ハニム孃は最近トルコ外交官と結婚し其他の四人は何れもまだ通學中だが最近大統領が農場視察のためヤロヴア附近に出かけた時道を尋ねたのが緣で路傍の一少年が偶然にも大統領の第一子として養はれる身になつた。この少年は貧しい小作人の子で一ケ月三圓ばかりの報酬で羊追ひに雇はれてゐたのであるがその賢さうな顏立ちと營養不良のいぢらしい姿が大統領の目にとまつて一躍金殿玉樓に拾ひ上げられたのである、少年は先づ當地の病院で健康な子供になつた上で學校に通はされることになつてゐる、少年は大きくなつたら偉い軍人になるのであると。

遲蒔きながら武を練る
支那國術の提唱と素晴しい流行振り

辛亥革命が滿淸を倒して「中華民國」を生んだ秋であつた、一般支那人はこれからは民主國だからすべての封建的習慣や禮儀を改めて了へといふので響信の恐慌謹言を脫帽、擧手、失敬なる文句に代へ、大總統袁世凱君なぞと言つて得意がつたことがある、今から考へると當時革命に參加した國民黨の青年達は純眞なものではあつた

◇

爾來荏苒……民國十六年國民黨多年の熱望實現して南京に國民政府樹立せられ高く「完成國民革命」「實現三民主義」が唱へられるや、脫帽で得意がつた青年達はモウ中老でその政策もまた自ら異るものがあつた、曰く男女平等、曰く斷髮、曰く中山服等、等々……政權にしても「以黨治國」で再び天下を第二の袁世凱に奪はれまいとする努力は大したものである、殊に見よ、新支那の種々相を!、「不平等條約を廢除せよ」と叫ぶ對外運動の熱心さに至りては時に脫線も多きが轉た人をして感心せしむるものがある、就中建設に就ての研究は各自列國で學び得た智嚢を傾けて全く一生懸命の努力をつゞけてゐることは如何に國民黨嫌ひの人々でも之を肯くであらう

◇

今語らんとする「支那國術の提唱と運動」もその一つ、國術と言ふのは支那の武道で例の術を飛ばし劍を舞はし拳と腕で敵に對ふ恰度我が國の劍術と柔術を混合したもので古來幾多の流派あり、殊に河南の少林寺拳術は天下に周く知られてゐた、これに夙に眼を着けてゐたのが、日本通の鈕天仇氏で東京留學中我が講道館の隆盛を研究してゐた氏は一昨年夏「支那民族の自由と獨立は勿論內に軍閥を打倒して南北を統一し、外に對しては不平等條約を廢除するにあるが、之に成功しても之を保持するものは第二の中華民族でなければならぬ、然るに現在の支那民族は餘りに文弱で、若之を子孫に移せば遠からざる將來に支那民族は滅びる、今補救の方法としては國民をして衞生學を講ぜしめ體育を獎勵するにある」と叫び始め、フランス留學生のハイカラさんたる褚民誼氏が心から之に共鳴した結果體育獎勵の方法として支那古來の武術を提唱するを捷徑とし政府命令を以て「國立國術院」なるものを創設した

◇

その內容は各流派を統一して中央の國術院流とすること、各省各縣には必ず國術院を設けること、學修者には壯士、武士、國士、勇士の級段を與へること等我が講道館に似たものがある、而してその院長に李景林、張之江兩氏を任命したが面白いのはこの兩人、民國十四年郭松齡事變の際天津と北京に分れて例の激戰を交へたものが、昨日の敵は今日の友で仲よく之を片耳つてゐるではないか、爾來國術は南北支那に旺に流行し始め新支那種々相の一として世人の注目を惹きつゝあるが、過般我が貴族院議員阪西利八郎氏が津浦線の德州を通過するや、今回の變亂で名高い石友三氏は頻りに下車を勸め阪西氏の迷惑の如き問ふところにあらず翌朝郊外に案內して部隊四百を甲乙二班に分ち朝日に物凄い青龍刀を輝かしつゝ所謂「生龍」「活虎」の妙技を演ぜしめたと言ふから素晴らしい、一體支那の武術ナンテ眞實なのだらうかとの失禮な愚問に阪西氏は「ウン日本の柔劍道の型と同じだ青龍刀が頭に當ればヤハリ斬れるヨ」で感心したやうな、せぬやうな返事をしてゐた

◇

また所謂支那の武術家の家庭は此頃寒いのにストーヴなき室に連日火の出るやうな稽古をつゞけてゐるし、李景林の如きは副領事として着任した後藤綠郎君の挨拶をうけるやお茶代りに一番の妙技を演じて後藤君をアッと言はしめた話もある、この一年餘以來如何に國術が流行してゐるかまた以てその一斑を知るに足らうが、斯かる流行と當年の脫帽とを併せ考へると國民黨の改革事業が漸く眞劍になつてゐるやうである

◇

斯の如き流行は勿論從來の南北の武人がそれぐ流派に從つて學習してゐたのを鈕天仇氏等の提唱と政府の獎勵で旺盛になつたものであるが、國民政府の一番と稱せられる張靜江氏は更に之を獎勵すべく五十萬元を支出して全國々術競技大會を去る十九日上海租界の西門塔路運動場に開かしめたが南は雲南、北は黑龍江、集る全國の選手は百七十餘「我が武道を揚げ我が國光を增す」のだとバカリに各流派得意の妙技を演じた、大會は十月初旬より李景林、褚民誼氏等によりて準備され競技第一等には銀四萬元の懸賞があつたほか、今後出場選手は政府より資金を得てチームを組織し全國の重要都市に競技大會を開き、體育獎勵の先驅を爲すと共に隱れたる武人と試合しやうと武者修業の氣焰を擧げてゐる

◇

一方北京に於ても二十三日河北國術館成立一周年記念會を開き大會に參加の武人が各種の武術を演じたが今後斯かる流行は全國に擴大しやう之に就て河北省黨務整理委員訓練部長陳訪先氏も次の如く語つてゐる

支那の弱國であることは國民何人も之を知つてゐるが、その原因は支那人種の弱さに在り、而して人種の强弱は優生と體育を講ぜざりしにあつた、列國の强盛は固より政治、經濟、法律の一切が進步したのにも因るが、その國民が均しく體育を講じたこと吾人は注意すべきである、支那の體育は往昔列國の上にあつたが、その後文氣に染み代々相傳へ近世數百年間殊に甚しくなつた、今にして之を講ぜざるに於ては、支那民族の將來は寒心に堪へぬ

◇

而して還は一に家庭社會の教育問題に注意すべきであるが之は僅に一團體の能く効を奏すべきものではない、二三十歲の人に教育を施すとしても及ばざる所なれば唯だ武術によりて身體を鍛練することが最も必要である强盛の法は固定不變のものでなく、吾人は昔日本人を矮小だと譏つたが之を五十年前に較べると、日本人は二三寸高くなつてゐる之は武術を練習した結果である、吾人は日本に於て、日本人が體育に熱心で且つ如何なる地方にも演武場の設けあるを見て、日本は支那に强いのみでなく實に世界强國の一だと感心した、當時若し支那にして武術を講ぜざるに於ては斷じて强くならずと感じたが歸國後各地に國術館の組織せられしを見、先輩が文風の弊を認めたことを知つて意を强ふしてゐる次第である

◇

歐米の拳鬪は支那より傳へたものであるが、支那人は團結なきため遂に今日の有樣となつた、今後一致團結して國術を研究し一面民族を保護し一面外に對せば斯道の復古は期して俟つべきである孫總理は「個人と團體と國家に論なく自衞の能力ありて始めて生存す」と言はれたが如何に科學の武器ありても之を用ふるものは人である故に吾人は强國は强種、强種は强身であることを知るべきである、支那は東亞の病夫、之を救ふのは一に國術あるのみ、國術を提唱することは中華民族の地位を恢復することである

◇

國民政府成立以來、改革の種々相が走馬燈のやうに世人の眼に映るが、武術の提唱と流行だけは興味を以て迎へられてゐる、而してこゝにも支那式に「吾人の國粹が整理された時、全民族の力を發揮して帝國主義に勇敢に反抗し、眞正の民主政治の光を全球に放ち世界の大同を促成するのだ」との大きな叫びが擧げられてゐる【天津特信】

自前の蒲團を持つ びんにきずの全權大使
電園下社會館に泊り込の記(下)
師走を行く (29)

何時の間にか話もしづまつた隣の藤太さんのそのベッドの男が斯んな所には不似合な羽二重の紺の抵紐を取り出して凝乎と見入つてゐる、他の者等と異つて唯一人自分の布團を持つてゐる男だ先刻皆から「やあ全權大使お歸り」と迎へられて「食へるか食へないかの問題だ、どうせ何方かゞ喰らひ込むんだし斯うなりや仕樣が無い」と啖呵を切つた大將だ、昔の女を想ひ出してか愛撫する樣に眺め入つて居る左の徑二寸大の猫痕が電燈の光にテラく光つてみえる。

▽——△

扉が開いて二十前後の實直さうな青年が歸つて來た。

「お歸り、何うでした」

寢て居た連中がまた頭を上げる

「賀狀書きですよ朝八時から夜八時まで續けたんで腕が棒の樣になつて了つた」

「幾ら貰るんですか」

「さあ幾何と定めてないが雜誌社だから貰れるか知ら」此の男學校を出て此處に來て未だ間も無いのだ。先刻出て行つた宇佐美部長の昔の同僚先生忙しさうに又入つて來て「おい明日誰か苦力監督に行く者は無いか、日給一圓五十錢だ」と聞いて廻る。この男三年前から社會館を出たり入つたり一番の古參で皆から立てられて居る。

「僕行きますよ、お願ひします」と答へたのは二十二、三歳のお河童をした青白い顏の青年で、數日前から病氣だといつて寢たまゝ友人から二圓、三圓と貰つて居たがいよく窮して初めての勞働をやる事に決心したのだ。

▽——△

「さて、行つてこうかなあ、けど十時過ぎたら何處で泊つたらよいかなあ」と支那服の男が呟く。夜廣告張りの手傳ひをしてゐる男だが、一時すぎまでかゝるので門限十時過には閉めて了ふ此處に歸つて來れないのだ。

「車庫の中の電車に泊れよ」と教へられてトボく出て行く。と間も無く電氣が消えた、十時だ。

▽——△

スチームも火を落したらしい、冷えて來た、凍つた棺をメキくと折る木杜の音が今更身に泌み入る連鎖商店の青赤の廣告燈が眞黒な空に映つて、師走街頭の雜音が喚る樣に響いて來る。

「あんな綺麗な店で働いてゐる人もあるんだなあ——」同側の窓際の男が吐息と共に呟く。記者は五枚の軍隊毛布を頭から被つた、酸つぱい匂ひがする、頸筋迄が變にむづ痒い。

▽——△

——チリンチリン——鈴の音に起された、午前七時だ。お河童頭の青年はオーバーも無し震へながら最初の勞働の首途に出て行つた「畜生!また夜が明けやがつた」隣室で誰やらが欠伸と共に吐き出す樣に叫ぶ。

「文化協會に糊張仕事二人要るんだが……」昨夜の男が入つて來た。「私行きますよ、今日の飯代が無いんだ」と一人の男がせ手繰る樣に取つて了ふ。記者が窓際にぼんやり凭り掛つてゐると「吸ひませんか」と昨日の仁川の男が煙草を一本呉れた。思はず眼瞼が熱くなるのを逃げる樣に外に飛び出す、だが彼等の誰一人もセンチメンタリストは居なかつた。

三人組の支那人强盜が 白晝邦商を襲ひ
逃ぐるお客を射殺

【ハルビン特電二十九日發】白晝而も雜踏のモストワヤ街鏡ケ江商店に二十九日午前十一時頃三名の拳銃を所持する支那人の强盜侵入し主人を脅迫逃げんとした來客の久保虎太郎を射殺即死せしめ現金三百餘圓餘を强奪逃走した

お留守の坊ちやん達に 財部全權夫妻のお便り
優しい母性愛の言葉を盛つて

【東京廿九日發電】若槻全權の留守宅へ手紙の着いた同日芝白金三光町の財部全權の留守宅へも夫妻から四人の子供さん達へ何れも繪はがきの第一信があつた、いね子夫人から一番末の慶應普通部一年の辰彦さんに宛たものは「辰彦元氣でせうね、三十日には横濱迄難有う、風邪もひかなかつて、之から又一生懸命に勉強をなさいね、ババモママも元氣です葉山の海などと違つて波荒く風強く昨日で三回目の雨風でママも之には閉口です、もうあと五日目でヴイクトリアへ入港との事です　ママより」と母性愛こまやかな筆致である、それにひきかへ財部全權から總領の武雄さんへ宛たのは「昨夜此の處に一泊元氣、一寸報告迄留守宅御元氣を祈ります」と如何にも軍人らしいあつさりしたものであつた

財部夫人が 紋服姿で
挨拶の歷訪

【ロンドン二十八日發電】財部夫人は横濱出帆以來の和服姿を捨ず今日は紋付姿で雨煙る中を松平大使夫人を首め邦人夫人達を訪問挨拶を述べた

聖上出御の上 節折の御儀
次で大祓の儀、除夜祭御執行
宮中掉尾の御祭典

【東京廿九日發電】宮中では昭和四年最終の御祭典として來る三十一日、即ち大晦日正午には宮中鳳凰の間に於いて天皇陛下出御のうへ節折の儀を行はせられ、午後二時からは賢所で大祓の儀を行はせられ同四時からは賢所、皇靈殿神殿の三殿に於いて除夜祭を行はせられる事となつた

皇太后陛下 きのふ宮城へ
兩陛下御始め兩内親王宮と 御對面歲末の御挨拶

【東京廿九日發電】皇太后陛下は廿九日午前十一時四十五分自動車に召され宮城に御參内、御内儀で天皇、皇后兩陛下、照宮、孝宮兩内親王殿下に御對面歲末の御挨拶を御交させられ正午大饗食堂で午餐の御會食、種々御物語りあらせられ午後二時還啓あらせられた

エムデン號の 乘組員暴動
給與不足で

【ベルリン廿八日發電】世界一周航海の壯途についたドイツ巡洋艦エムデン號はウイルヘルムスハーフェン港に寄港したが乘組員が十二月初めから給與不良の故をもつて暴動を起し赤旗を掲げ即時歸國を要求した、首謀者は既に逮捕されたと傳へられて居る

天機奉伺
在京の各宮 殿下參內

【東京廿九日發電】御在京中の閑院宮殿下を首め各皇族殿下は二十九日午前十一時頃前後して參內あらせられ天皇皇后兩陛下と御對面、天機ならびに御機嫌を奉伺せられ歲末御祝詞を言上退出あらせられた

小さき愛の奉仕

敷島町基督教青年會土曜學校生徒一同より播磨町育兒ホームに金十圓也と文房具及菓子其他の一箱を又春日町託兒所へ菓子と果物等の寄附をなし此の年末を賑はせしとのことである

難航の三福丸
きのふ無事入港

十二月中旬山東威海衛海岸に於いて荒天のため難船してゐた門司野村汽船所有船三福丸(六九噸)は無事歐洲サルベーヂポート那須丸に救助され二十九日大連港へ修繕のため入港した

吉林地方の 在留鮮人
十一月末現在

吉林總領事館管內に於ける在住鮮人戸口數十一月末調査左の如し

縣別	戸數	人口
省城	六一	二六二
吉林	三七六	一、五九八
樺甸	八四六	三、一三二
磐石	六一六	二、三六一
額穆	七八五	四、四〇二
敦化	六三一	三、四六二
舒蘭	二二〇	五六八
濛江	三三八	一、三〇二
雙陽	一四九	五一八
計	三、九二二	一七、六六九

政治運動嚴禁
吉林の學生に

【吉林發】吉林省政府教育廳長王莘林氏は近時管內各地に於ける省縣公私立の各學校生等にして思想運動青年等の煽動により同盟休學するもの續出し紛糾を起しつゝある狀況に鑑み最近管下各縣政府教育局長に對し學生等の政治運動其他軌外行動取締方嚴命する所あつたと

吉長鐵道の 昇給運動
また再燃す

【吉林發】吉長鐵路局員の昇給運動は前任局長李繳氏在任當時餘程具體化して居たのであつたが、突如李局長の更迭に依つて其後一時沙汰止みとなつてゐた處最近に至り右運動再燃し既に第一回の打合せも終り目下昇給要願書の起案中だと云はれてゐる

…河口某へ正月の餅も搗けないものへと餅一斗五升と金五圓を寄贈して來た

Z伯號で北極の 探險飛行を計畫
獨逸航空總會で發表

【ベルリン二十八日發電】ドイツ航空總會は千九百三十年に於けるツエ伯號の北極探險飛行計畫を抛棄する旨を發表した、乘組員等が乘船を拒絕したゝめであるもつとも協會は千九百三十一年度に敢行したいと希望する旨附言して居る

旅順消防演習
六日出初式に

旅順消防屯所の昭和五年出初式は六日擧行の筈で當日は午前七時を期し消防手一同は機械器具とともに敦賀町屯所前に集會八時までに整頓を終へて警察署長の點檢を受け訓示、答辭ありそれより恒例に依り乃木町昭和園前廣場薄を中心とし勇壯なる消防演習をなす筈即ち第一班はバルブレス式自動車ポンプ第二班はルトウイツグスパープ式ガソリンポンプ第三班は水管自動車の消火栓直結にて放水競技開始高さ六十尺の竿頭に提灯其他の目標を置き放水して打落す外種々なる消防演習を行ふ由であるが午前十時終了の豫定である

三井生命の 支那進出
明年から營業

【東京廿九日發電】三井生命は明年支那在留邦人及び支那人を目當てに支那で營業を開始する

高等法院御中 歎願書所持の男

二十八日午後二時ごろ市內高崎町の中谷警務局長官舍へ年齡三十二三歲位の白衣の上に茶色オーバーを羽織つた擧動不審の男が訪ね、應接した家人に自分は志賀兼藏(?)といふ者であるが局長に面會し度いと申出で懷中より高等法院御中と鉛筆で宛名を走り書きした歎願書樣の封書を差出し家人に取次を斷られて引下つたが旅順署では精神病者と睨み大連署外各署へ檢査手配方を依賴した

東洋一を誇る 清水隧道貫通す
きのふ鐵相の手に依て

【東京廿九日發電】白雪皚々の常越國境に延長三萬二千八百卅一フイート八インチに亘る東洋一の清水トンネルが貫通した、同トンネルは大正十一年八月最初の掘鑿工事着手より七年餘を經て工費七百五萬六千圓を費して廿九日午後二時五分、江木鐵相の手で貫通したものである、即ち廿九日現場では東西兩口に各三十ポンドのダイナマイトを裝置して、鐵相が鐵道省大臣室にひかれた電線のボタンを押すや電流は通じて最後の爆破を行ひこゝに全くトンネルの貫通を見た

轉任者歡送迎會

旅順民政署員は今次の大異動に依つて再び民政署長に返り咲きした西山新署長、庶務課長から本廳衛生課長に榮進した增田道義氏、及び大連民政署地方課長から增田氏の後を襲つた吉野不二雄氏その他の出入者の歡送迎會を二十九日午後六時から料亭壽に於て開催した

美しい同情

市内大正通り一六三大内マツさんは廿七日沙…

汽船沈沒し 三十名溺死

【ソフィア二十七日發電】ブルガリア汽船ウアルナ號は本日マルモラ海で風雪の爲めギリシヤ汽船クリン號と衝突した後沈沒し乘組員中四名救助されたのみで三十名の溺死者を出した

中谷局長招宴

中谷警務局長は二十九日午後六時から旅順瓢亭に關東廳の各係長を招待して一夕の宴を張つた

新年川柳句會

昭和五年の滿洲柳壇發展のため一月中旬を期して新年句會を開催します在滿川柳家は奮つて御投稿下さい

『長』　大阪　岸本水府先生選
『馬』　大連　小林茗八先生選

一月五日締切、一人一題三句限

優秀句へ薄賞を呈します(用紙半紙)

編輯局文藝係

けふのラヂオ

昭和四年十二月三十日(日曜日)

自午後〇時三十分　ニユース
自午後三時三十分　ニユース
自午後七時
一、ニユース
二、料理獻立
三、天氣豫報

轉辭任した警察官送別會
ゆふべヤマトホテルで頗る盛宴

今回關東廳の大異動により轉任せる高山大連警察署長、寺田水上署長、泉大連警務主任、窪田水上警務主任、灘大連署警部、千葉小崗子署警部、田畑大連署警部補、小林大連署警部補、吉岡大連署警部補及び辭任せる紙之谷小崗子署長以上十氏の送別會は市內邦字、漢字七新聞社長發起のもとに二十九日午後五時半より大連ヤマトホテルにおいて催されたが、出席者は森本法院長ほか法曹、警察關係者各市會議員操觚帝關係、實業家等官民名士を網羅し約二百四十名、本年未曾有の大多數でホテル大廣間に溢れ外廊にもテーブルを置いて漸く間に合した程であつた、宴に先だち發起人側を代表して寶性大連新聞社長の挨拶あり、高山署長轉辭任者を代表して謝辭を述べ乾盃し一同會食して和氣藹々裡に同七時十分盛會散會した【寫眞はゆふべヤマトホテルで】

夕刊 滿洲日報 十二月廿九日

明春一月一日を期して治外法權を撤廢する
辦法を作って速やかに公布 國民政府より聲明

【南京廿八日發電】國民政府は本日午後治法撤廢問題に關し左の如き聲明を發表し中外に宣布した。凡そ統治權完成の國家にありては國家に居住する外人は該國家の法律の支配及び司法機關の管轄を受くる事は固有の要素にして又國際公法の確定不易の原則とする處なり中國は領事裁判權の束縛を受くる事八十餘年に至る國家の法令は外人に及ぼす能はず若し領事裁判權にして一日排除せざれば中國の統治權は一日完備する能はず茲に我國固有の法律を恢復するため民國十九年一月一日よりおよそ中國に居住する外人にして現在領事裁判權を享有するものは將さに一律に中國の中央政府及び地方政府が法によつて發布せる法令規定を遵守すべし之に關しては行政院司法院は所管機關に命じ速かに辦法を作り立法院に廻付して之を審議し速かに公布するに便ならしむる處あるべし

伊國が治廢に好感で北平外交團の步調亂る

【北平特電二十八日發】明年一月一日から治外法權撤廢實施に決定して居るが北平の外交團は目前に迫つたこの問題に對し打合せをなしつゝあるといふも各本國政府の政策に變動を來し步調一致せず悲觀すべき狀態にある、即ち伊國が本問題に對し相當好意的態度を持し來れるがため各國の步調が亂れる結果となつたものである

英京の全權
準備と打合せに專念

【ロンドン廿八日發電】若槻、松平兩全權は同伴で今朝セント、ヂェームス宮殿を訪問し訪問帳に署名して退出し同十一時外務省にサー、ロナルド、リンゼー氏を訪ひ昨日の答禮を述べた、尙ほ全權部は海相官邸を訪問し名刺を置いて辭去した、當地は今クリスマス休暇にて各要人は全部不在で全權等は準備と打合せに專念して居る

全權の旅舍色めく
事務整理開始

【ロンドン廿八日發電】日本全權當地到着と共にグロヴナー、ハウスは色めきたち裏表の入口に英國旗、海軍旗を交叉して敬意を表し全權及び其の他は三階に事務所は二階を宛て事務整理を始め居りホテルは一行及び訪問客で到る處右往左往して居る

哈市の勞農代表の歡迎茶會

露都の正式會議と勞農側の希望細目協約
一九二四年の露支協定による

【ハルビン特電二十九日發】露支正式會議は一月二十五日からモスクワに於て開催されるが、ソウエート側は一九二四年の露支協定による細目協約を希望し

一、通商條約の改訂
二、國境の查定
三、露支兩國民の居住權問題
四、駐支ロシア大使館の恢復
五、東支問題に關する察路協定の根本解決

等が議せられる筈である

佛蘭西の下院で軍艦建造案承認
明年度に四萬八千噸

【パリ廿八日發電】フランス下院は本日合計四萬八千噸の千九百三十年度軍艦建造案を承認した

國境開通の命令
近くル局長から發す

【ハルビン特電二十九日發】東支鐵道の歐亞及び烏蘇里との連絡は一月一日から行ふと傳へらる、ルデイ局長とデニソフ副局長は二十九日歸哈すると共に三十日臨時理事會を召集し直に正式に著任を決定しル氏は國境の開通命令を發する筈、尙理事會は露支七名の理事出席を決定數とせるも、若しその員數に滿たぬ時は一時便法を講ずるであらう、露國側としてはイズマイロフ、ダニレフスキーの兩氏であるが、或はシマノフスキー氏が參加すると見られ、支那側は范、郭、汪、李の四氏が列席する筈である

勞農代表の顏觸れ

【ハルビン特電二十九日發】勞農側代表一行の顏觸れは左の如くである

東支管理局長ルデイ氏副局長デニソフ氏秘書ワシレフスキー氏管理局參事(前烏蘇商業部代表)イシチエンコ氏副理事長イズマヘロフ氏臨時總領事シマノフスキー氏副領事コーリン其他ゲベウ三名とコワビと、リチコフ使節である、尙ほダニレフスキー氏は大連より來哈の由

東支割引撤廢

【ハルビン特電二十九日發】范其代理局長が布告した東支東西兩線の運賃割引率は一月一日から撤廢さると

犬養總裁から引退取消挨拶

【東京二十九日發電】政友會犬養總裁は曩に岡山縣選擧民に對し政界引退の聲明を爲したが、今回再び政友會總裁として就任につき政界引退の取消を爲すべく其の旨挨拶狀を選擧民に送つた

何成濬氏太原へ
重要使命を帶びて來平

【北平廿八日發電】何成濬氏は閻錫山氏訪問のため本日午後二時來平今夜八時發太原に赴く筈であるが、その目的は蔣介石氏との政權授受の重要使命を帶びたものでその結果は重要視されて居る、氏は往訪の記者に語る

予は太原に於いて閻氏と會見後直ちに鄭州に赴き唐生智軍伐討の總攻擊令を下し漢口より北上する何應欽軍と挾擊してこれを絕滅する決心である、蔣介石氏は改組派その他一切の反動軍隊掃蕩の結果國府内部を撤底的に恢復すべく準備中で近く實行の筈である

倫敦銀塊
新安値に落つ

【ロンドン廿八日發電】數日來續落の當地銀塊相場は今朝一オンス二十一片二分の一と言ふレコード破りの新安値を現出した

昭和三年の貿易外勘定
受取超過二億一千八百萬圓

【東京廿九日發電】昭和三年中に於ける貿易外收支勘定は二億一千八百萬圓の受取超過を示し前年より一億五千六百八十三萬五千圓の受取り增加である、內經常收入の受取增加は一億七千三十七萬六千圓で前年より二千二百餘萬圓の改善である、尙ほ同年中の貨物貿易の入超三億三千三百萬圓を差引けば一億一千五百萬圓の支拂超過となつてゐる

原田男、園公に政情報告

【江尻廿九日發電】原田熊雄男は二十八日午前十時西園寺公を訪問し現下の政情を報告し同五十分辭去零時五十分興津發歸京した

赤旗を振り翳さして狂喜する赤系露人
勞農代表一行の到着した夜のハルビン驛頭

【ハルビン發】七月來支那官憲のために彈壓されたソウエート國人が漸く其の桎梏のもとから解放される日が來た、十二月廿六日のハルビン驛頭の夜の光景を視たものはゴーッと云ふ恐ろしい力をもつて地底に撼れる群衆の唸りと滿目の雪を埋めた黑山の人の波、赤い勞農小旗の眞紅に蔽はれて物凄い勢ひに慄いたであらう

これは哈府に於ける露支會議の成立によつてロシア側代表としてシマノフスキー、ルデイ、デニソフ、イズマイロフ其他ゲ、ペ、ウ、秘書、鳥鐵商業部代表エスチエンコ氏等十五名が愈々ハルビンに乘込んで來る當夜の狀景である ◇

ポグラを發車した蔡運升全權の特別列車にロシヤ側代表も同行であると聞いたソウエートの東支從業員等は每夜の如くに驛に詰めかけたが、勞農機關紙アンガスターが廿六日の通信に「ロシア全權代表の一行は十二時頃着哈の豫定である」と報道し特に其の日の記事に「御用の方はアンガスターに照合されたい」と附言し通報したので、殆ど絕望の淵に投げ込まれてゐた共產黨事件で拘禁された者の遺族を始め黨員等は天日の光明を仰ぐことのできる歡喜に浸りながら沿道に堵をなして續々と驛に向つて詰めかけ午後九時頃には胸に赤いリボンを耐いた其等の群集が十重、二十重と二等待合室に雪崩れ込み、身動きもならぬ人いきれのうちにプラットホームへと溢れ出た、支那巡警や白系露人の巡警が制する位では彼等は既に觸易しない、九時半頃になると表入口には巡警が立つて斷然通行を阻止したが然し勢ひと力は彼等の貧弱な防禦を突破し群集は鯨波の聲を上げ喊聲のうちに關門を破つてプラットホームへと續々と押し寄せた ◇

やがて構內の時計は十一時を示した、三時間餘も二十餘度の寒天に曝された群集は熱と力に支へられて憔悴しても我等の歡迎をしやうと頑張り、既に貴賓室にはブリヤンスキー技師、ドイツ副領事ヘンセリー、東支商業部前奉天支部長ヅエーレフ、極東銀行のボクレベロキー其他ソウエート幹部にネズナイコ、カバルキン、コヘレフスキー氏と日支露の新聞記者等總勢七、八十名が集まつた、續々に時は迫る十一時五十五分を報じた、驛長が「列車は構內近くに進行し來た」と傳へる ◇

この時、ワッと云ふウラーの叫びが地雲も破れんばかりに轟いた熱狂の迸しる歡喜の高潮に達した時である、續々たる白煙を冲して特別列車は靜かにホームに停車した、二臺に分れた音樂隊は一齊にインターナショナルを奏し赤旗は波をうちウラーの喊聲は場を壓した、タワリシュトシマノフスキー、ルードウイ、イズマイロフ、デニソフ等は車窓から顏を出して群衆に對しこの光景を眺めて感激の淚を流した

一行が特別車から出ると群衆は圍繞して凱旋將軍に對ゆるの禮をもつて一齊ウラーを高唱した代表一行の親しい知己等は強い固い握手を交したばかりでなく或るものゝうちには互にシカと抱擁して泣いたものもある、この劇的シーンは彼等を極度の昂奮に導いた

斯くて一行は支那官憲の誘導で貴賓室に入り着席し紅茶にレモンで十分間程休憩したが、ロシヤ側代表は沈默を守り一言をも發するものがない、緊張した場面であつた十二時半ロシア側代表は蔡運升氏と握手しシモノフスキー、コゝリンの一行五名は勞農總領事館にデニソフ氏等はグランドホテルに自動車で向つたが、驛前大廣場に重なり合つた大衆は此所でもウラーを浴びせ自動車に蝟集して動かさぬ程の歡迎であつた、支那側は巡警總出で群衆を制したがコムソモルと各所に小舞台を爲し二名の巡警は袋叩きになり帽子や銃を奪はれ一名の巡警は鼻血を流してサメザメと泣いてゐた、一行の自動車は雪に深い轍の跡を殘して去り群衆も一部はキタイスカヤ方面に示威行列を成し各自歸宅した、支那側は全く手の下しやうがなく傍觀するばかりであつた、結局支那は東支の原狀恢復によつて屈服したのである

日曜閑話
正月とクリスマス

一年は三百六十五日五時四十八分四十六秒といふことになつてゐる。それを暮だ、正月だと騒ぐのが人間である。四時の運行には正月もなく、節季師走もない。淮南子天文訓に「三百六十五度四分度の一にして一歳を成す。日月星辰は甲寅の元に始まる。日に行くこと一度にして歳に奇あり四分度の一なり。故に四歳にして一千四百六十一日を積んでまた故の舍に合ふ」といふ如く天文循環して休止するところを知らぬ。

◇

尤も人間が、この世に生れ出で夏だ冬だ、暮た正月だと、年や月を制定するやうになつたのは、カルデヤ人ではないが、餘程の後世であつて、人文も相當に發達した有史時代に入つてからである。人間が獸類を手なづけて家畜といふものを發明しアラビヤの平野を、春分から北に向つて草を求め、秋分になると寒天の來らんことを豫知して南下したことも、遊牧時代の經濟生活、社會生活でなくてはならぬのである。その時代には、北には北斗の七星によつて大熊星を、南にはサウザン十字星を目あてにしたことであらう。

◇

支那にも農といふ字がある。これは天文から援用された象形文字でなくてはならぬ。辰の字に何か供物でも上げたといふところ、支那の漢民族が、中央アジアから幾千年かの移動によつて黄河の上流に漢文明なるものを形成し、そこで、遊牧民であつた彼らが肥料といふ大發明をなし、一定の地域に定着するやうになり、耕作といふことによつて農といふことを發明したのであるが、その農耕を營むに當りては春種秋收、天文の運行に期待するところのものが尠少でなく、五風十雨といふやうな豐穣を希望するところのものが、つひには神農氏などの特殊な一部落を構成するに至つたものである。神農氏は農業技師であり、彼らは農事試驗所を經營してゐたともいへる。

◇

こんなことを考へて來ると、西洋でキリスト教徒が奉仕するところのクリスマスは冬至の百姓祭だといふことが明瞭になるであらう

冬至の祭りは東洋でもあるが、西洋でもある。夏至に對して、一年中の最も夜の短い頂上、日の長い夏の至は、何人も何民族も、餘り多くの注意を拂はなかつたに相違なく。殊に天文を測つてのことであるから、多の日月星辰に多大便宜を得てゐた原始人らは、太陽を拜することの最も短い冬至から、一陽來復といふ新しい天地が開け來るかに願望したのであつた。その願望が、土俗的の祭典がキリスト教の信仰などと結びつき、クリマスとなり英國あたりの寒い雪國の風景と結び、つひに煙筒からサンタクロースの翁さんが降下する(日本などにマッチを惠贈する樣で)に物を入れて贈物とするの風習を生むに至つた。

◇

文明は却つて溫帶から寒帶に發生したが、この一年三百六十五日五時四十八分四十六秒を區切つて冬至から約一週間を新年の一月と定めるなどは、これ北半球の文明といふべきである。殊に熱帶地方などには、七月や八月などを正月としたこともあり、敢て寒い一月と限つたことではなかつた。太陽の民族にせよ、太陰曆の民族にせよとにかく大寒か小寒、それから春分と算定して一月を正月、すなはち新年の初めとしたのは、キリスト教でクリスマスを冬至の百姓祭りから變化したやうに、冬至から一陽來復といふことに思ひつき、それから新しい春が機構的に展開するといふところに自然、當然の一致を見たものと思はれる

◇

少しく理に落ちたが、秋收冬藏して多至、目出たくもあり、目出たくもない節季から正月、これも天文の運行に人間の社會生活、經濟生活を織込んだ人文といふものでなくてはならぬ。(一記者)

人事

▲藤井準三氏(大連署勤務警部)着任挨拶のため廿九日市內各方面歷訪
▲高山勝司氏(新任安東警署長)廿九日轉任挨拶のため市內各方面歷訪
▲ジャパンツーリスト青島、上海觀光團一行百四名 廿九日出帆奉天丸にて出發
▲中尾大次郎氏(水上署長)廿九日八時着列車にて來任

天氣豫報

卅日(晴れ)北西の風時々曇り

各地の溫度

	十一時	昨日最低
大連	零下三、三	零下九、八
旅順	同一、八	同九、四
營口	同六、八	同一六、〇
奉天	同七、九	同一八、〇
長春	同一〇、一	同二三、〇

謹告

年末年始における本紙は左の如く休刊することに致しました、惡からず御諒承を願ひます

卅日夕刊(卅一日附)
卅一日夕刊(一日附)
一日夕刊(二日附)
二日朝刊
三日夕刊(四日附)
四日朝刊
五日夕刊(六日附)
六日朝刊、爾後平日に復す

温き人の情の品々を 涙で受くる貧しき人々

各方面から集った同情品の山を けふ大連署で分配

寂しいお正月もあと三日に迫って各家庭では春を迎ふる準備に急がしい今日この頃、お正月の餅はおろかその日の糧にすら窮する哀れな同胞に温かい同情を寄せ毎日大連署へお金、着物、お米、お餅を各方面から送ったのが同署保安係に山のやうに積まれてゐる、それを廿九日十二名の貧困者を呼出して原田保安主任から手渡したが何れも世の温かい同情に感泣してゐた

六宮様が スキー御練習

【東京廿九日發電】秩父宮、高松宮、竹田宮、北白川宮、朝香宮御二方の六殿下は廿八日午後十時五十分上野驛發列車で御揃ひで山形縣下五色温泉にならせられた同地に於いては六華クラブに御滞在スキーの御練習を遊ばされ三十一日午前御歸京年末年始の諸式に御出席遊ばされる筈

秩父宮様の 懇な御言葉

松平夫妻感泣

【ロンドン廿八日發電】全權顧問樺山伯は今朝改めて松平大使夫妻を訪問し秩父宮同妃兩殿下よりの御懇ろなる御傳言を傳へ御心盡しの御土産物を贈り更に皇太后陛下の有難き思召し御近状等を物語りたるに對し夫妻は感泣した

わが學生聯合に 獨逸が挑戰

國際學生競技大會の 今夏開催されるを機會に

【東京廿九日發電】昨年八月パリーに於いて開催された國際學生競技大會には我國からも參加し第三位を獲得したが其の第二回大會は昨年八月ブタペストの豫定を變更しドイツダルムスタットに於いて擧行される事になったので、日本學生陸上競技聯合では尠くも十名乃至十五名の選手を送りたいと目下金策に腐心中であるがドイツ側では之を期としベルリンで日獨對抗競技をやりたいと申込んで來た日本側でも無論之に異論ないので此計劃は實現するものと觀られる

馴染客を送り 藝妓の自殺

鉛筆で走書の遺書を殘す 原因は男との縺れ

あと三日に迫った正月を待たずして死を急ぐ哀れな女——廿九日午前十時十分頃逢坂町三田尻樓抱藝妓坂井千代子(二三)が自分の部屋で多量のリゾールを嚥下し苦悶してゐるを仲居が發見、直ちに桐原醫師を迎へて應急手當を加へたが、生命危篤である、自殺の原因に就いては大連署で取調中だが女の枕邊には鉛筆の走書きにて

何が何んだかわからなくなりました、私はこの世が嫌になりました、皆様に御心配をかけて濟みません

との遺書があるだけで詳らかでないが、一年ほど前から奉天都ホテル鶴岡某が足繁く通ひ詰め「明年一月には身の振り方をつけてやる」と云つてゐた、二十八日も鶴岡が登樓し二人は深更まで語らひ時々女の忍び泣く聲を聞いたといふが、翌朝鶴岡を歸してから八時十分ごろ自殺を圖つたもので或は鶴岡とのいさかいから女心に死を思ひ立つたものらしい

飯本一味の 瀆職事件

きのふ豫審終決

【名古屋二十九日發電】名古屋地方裁判所で豫審中だつた愛知縣土木部休職經理課長飯本嘉次郎外十七名に對する贈收賄事件は二十八日何れも豫審終結公判に移された公判は明年二月中旬の豫定である

北海道の 六人組強盗

主人を傷つく

【旭川二十九日發電】二十八日午前二時頃上川郡東鷹栖村保坂鐵一方へ六名組の強盗が押入り家人を針金にて縛し二名は短刀にて主人を脅迫傷害を與へて手提金庫の現金千二百圓を奪つて逃走した目下旭川署で犯人嚴探中

評判美人の會

この間、東京會館に美人で評判の奥様方が集つて、各その身嗜みについて話合つた。何れも苦心の實驗談で婦人方には有益な話。詳細『婦人俱樂部』新年號に發表!

大阪の初雪

例年より十日 寒さが遅れた

【大阪廿九日發電】大阪地方は二十七日來の雨は昨日も降り續き溫度低下し遂に二十八日夕刻に至り雪を交へ本年の初雪を見た、例年に比し一週間昨年よりは十日間遅ると

スキー練習中 帝大生凍死す

雪の山中に迷ふて

【長野二十九日發電】愛知縣生れ東京帝大一年太田謙三(二三)は同級學生十數名と共に長野縣下發哺溫泉附近にてスキー練習中のところ二十六日山の中に迷ひ込み二十七日は終日雪の山中をさまよひ全身に凍傷を負ひ瀕死の重傷を負ふたのを二十八日未明漸く捜索隊に發見され直ちに醫師の手當を加へたが遂に絶命した

南支觀光團 華々しく

けふ出發す

ジャパンツーリストビユーロー主催の青島、上海觀光團一行百四名は廿九日出帆の奉天丸で同社齋藤營業主任に先導されて出發したが、正月休みを利用した夫婦連れ家族連れの團員も多く埠頭はそれ等の人々への見送り人で賑はつた尚一行は青島上海を見學の上一月五日大連に歸着の筈

旅館舊蹟視察

ジャパンツーリストビユーロー大連支部の打越辰次郎氏は内地山陰方面の名所、舊蹟、旅館、溫泉設備等視察のため約三週間の豫定にて三十日出帆の香港丸で出發すると

強盗かはた痴漢か 窓口から覗き廻る怪漢

追ひ詰められて矢庭に拳銃で威嚇 彌生町界隈に出沒

強盗の目的か、變態性慾者か毎夜のごとく市内彌生町附近に出沒して人家を窺ふ二人の怪漢があり、附近一帶の住民は恐怖に襲はれ、夜を徹して警戒をした事件がこの夏あつたが、當時大連署で

犯人捜査 を行つたが皆目判らなかつた——ところが最近又も件の怪漢が同所附近を徘徊し懐中電燈を照して人家を窺ふので住民は再び不氣味な夜を警戒してゐたところ數日前の拂曉、彌生町三五番地石川某方=假名=の小窓の下に煉瓦を積み重ね内部を窺ふ怪しの人影あり物音に主人が目を醒ましステッキを持つて賊を追跡した、賊は寺兒溝方面に逃走したが朝日廣場で追詰められ「貴様は何者だ」と威嚇されるや、怪漢は矢庭にピストルを突きつけて反抗したので石川某氏はその儘賊を見逃した、この事件發生以來

附近住民 の恐怖は一層昂つて來たので同町居住の某氏は二十九日この旨を大連署に訴へ出た同署では時節柄ピストルを所持せるは重大事犯人との見込みで嚴重捜査を開始した

ヒヤッとさせた 飛行機の離れ業

飛んでる眞最中に 發動機が抜け落つ

千五百呎の高度にある飛行機の發動機が抜け落ちたが無事に着陸したといふ珍しい飛行機の離れ業、所は當地のダヴエンポート飛行會社の飛行場上空、ケケス、ハンターといふ操縦士が三名の練習生を乘せて飛行機の試驗飛行を行ひ千五百呎の高度まで達した時どうしたはづみかプロペラーがポキリと折れ其の拍子に發動機が外れて飛行場近くの地上に落下し物凄い勢で地中にメリ込んだ、操縦士は少からず驚いたが少しも周章てず三人の練習生に向つて機體の平衡を保つために前かゞみになつて居よと命じた。そして悠々とカヂを取りながら聊かの故障もなく無事着陸した【ダヴエンポート(アイオワ州)聯合郵信】

「禮次郎がめづらしい」 若槻全權が留守宅へ手紙

母堂夫人始め一同が大騒ぎ

【東京廿九日發電】筆無精でめつたに家に便りを寄越したことのない若槻全權から廿八日珍しくも留守宅のとく子夫人に手紙が屆いたが、耳の不自由な母堂なみ子刀自迄が「マア禮次郎がめづらしい」と驚いた位ゐでクリスマスが一度來た様な騒ぎ、此の最初の手紙はサイベリア丸からのもので内容は至極簡單なもの

◇…横濱出帆東京港を出ると海上大分波高く其事中途より船室に引揚げ其夜より翌々日正午迄は船暈の氣味にて船室に引籠り居たるも第三日より起床以來元氣にて(以下中略)田原は終始元氣にて活潑に働き居り申候有格は拙者と同じく當初は船暈に苦みたるもやうなりしも

此處で「操縦ではあまりあつさりして居るぢや御ざいませんか」と一寸夫人がにつこりする

◇…只今十二月十日午前十一時三十分米國の沿岸を航海しつゝ居り申候今夜はカナダのヴイクトリアに寄港明十二日午後米國のシャトルに上陸

と聲高に讀みあげる夫人のそばになみ子刀自首め隨員に耳をたてゝ居たが夫君最初の便りは之れでおしまひそして

◇…船中の状況を通報するかはりに別便を以て寫眞をと結んであつた

武裝した 強盗團

海軍兵站部を襲ふ

最近ニューヨーク郊外の海軍兵站部が強盗團に占領され金庫の中の十七萬二千圓が危ふく奪ひ去られやうといふ如何にもアメリカらしい事件が持上つた賊は十五人から二十人位、いづれも厳めしく武裝し夜半三臺の自動車に分乘して押寄せた、先づ最初の自動車から現はれた五名が門前の守衛を襲つて構内に入るべく一切の必要品を奪ひ取りその男の帽子や徽章を利用して第二の守衛に近づいた、やがてその夜の當直士官クリントン大尉に發見されたが多勢に無勢で同大尉は五名の守衛と共に手足を縛され賊團の爲すが儘に委せることを

餘儀なく された、賊は悠々仕事に取りかゝり金庫こそ最も金目と見込みをつけ爆發藥や電氣錐を用ひて金庫を開かうとしたが何うしても開かなかつた、五時間もかゝつたが到底ものにならずその内夜明けに間もないとあつて遂に仕事を斷念し悠々として引揚げたすると間もなくクリントン大尉が捕繩を抜け出し警報したが後の祭但し金庫在中の十七萬二千圓がソックリしてゐたのはせめてもの幸ひであつた(ニューヨーク發聯合電信)

東洋一の 清水隧道

けふから開通

【東京廿九日發電】延長六哩、前後八ヶ年の日子を費した東洋一の大トンネル清水トンネルは愈々廿九日開通する事となつた、同トンネルは單線で中央に列車のすれ違ひの際停車する信號所が設けられるが開通使用は昭和六年九月頃になると、なほ開通の曉は上野、長岡間距離は四分の一短縮され、上野、新潟間は十五時間が十一時間に縮められる

偉人を殺した ドイツの政爭

血壓學者の新學説

有名なドイツの血壓學者ユリユス・モーゼズ博士は最近社會民主黨機關フォルウエルツ紙上でドイツ公人の死の事實に就き次の如き新說を述べて居る

最近物故された外相グスタフ・ストレーゼマン博士並びにドイツ最初の大統領フリードリッヒ・エーベルト氏共に若し戰後の

苛烈なる 政爭に依りその精力を消耗しなかつたならばまだまだ生きて居られたに違ひない何れの文明國に於ても政治家の早世すること、ドイツの如きは稀である、エルツベルガー氏が四十八才、ラテノーワ氏の五十四才これ等は何れも不逞の徒の兇手に倒れたので問題にならぬがエーベール氏は五十四歳、ストレーゼマン博士は五十一歳で

物故した 之を八十八歳の長壽を保つたクレマンソー氏や七十九歳で尚國務に盡瘁しつゝあるチエッコの大統領マサリック氏、六十九歳の高齢で二度の手術を見事に終へたポアンカレー氏六十九歳で尚フランスの外交を一手に引受けてゐるブリアン氏依然ウエルズの魔術師振りを發揮して居るロイド・ジョーヂ氏に較べて悉く半ばに過ぎるものがある、ドイツの政爭は寧ろ

殘忍非道 の感があり如何なる體格の所有者と雖も到底此の苛烈なる政爭に堪へ得ない、政治家はピストルの彈丸と同樣な酷なる惡の妙計に身も心も打ち砕かれて了ふのである(ベルリン聯合郵便)

中尾水上署長

着任事務引繼

新任大連水上警察署長中尾大次郎氏は廿九日八時着列車にて來任したが直ちに水上署に到り寺田前署長との間に事務の引繼を行つた尚寺田警視は廿九日十一時三十分發列車にて撫順に赴任の筈

次の長篇小説

元旦號より連載

目下本紙に連載中の小説「愛慾の巷」は好評の裡に近く終結を告げますので、我社は愛讀者各位の御期待に副ふべく現代文壇の寵兒三上於菟吉氏に交渉しました處長篇小説『戀と地獄』の執筆の快諾を得挿畫は肖像畫家中の新進鶴田吾郎畫伯の彩管に俟つ事としました、必らずや大方の好評を博する事と信じます

長篇小説 **戀と地獄** 作者 三上於菟吉 挿畫 鶴田吾郎畫伯

作者の言葉

僕の純粋文學はこの「戀と地獄」で自分としては一尖端を示したものと言へると思ふ。僕はこの一篇に現代東京が含む一切の悪しき美と力との渦巻、それに捲き込まれて押し揉まれる小さき弱き幾つかの生命に就いて、出來るだけの描寫を試みる決心だ。僕は讀者の後援が、あくまで素志を貫かしめられんことを望む。

公示催告

大連市監部通四十九番地 申立人 株式會社大信洋行 右代表者取締役 石田榮造

目録

一 約束手形 壹通
一 金額 金七千圓也
一 支拂期日 昭和五年二月廿八日
一 支拂地 大連市
一 振出地 大連市
一 振出年月日 昭和四年十二月一日
一 振出人 大連市監部通四十九番地 株式會社大信洋行 專務取締役石田榮造
一 受取人 宛名人 奉天木曾町 松井清作 以上

右證書ニ付キ前記申立人ヨリ公示催告ノ申立アリタルニヨリ其所持人ハ昭和五年六月三十日午前九時迄ニ當法院ニ權利ヲ屆出テ且ツ其證書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及ヒ提出ヲ爲サヽルニ於テハ其無効ヲ宣言スルコトアル可シ

昭和四年十二月廿六日 關東廳地方法院

◇◇◇ 注連飾り ◇◇◇ 暮れの街所見

コドモページ

冬の理科

冬と水道（下）

地上と地下とは夏と冬が全く反對

一郎。お父さん、地面の中を通つてゐる水道管は、どうして凍らないのですか。

父。それは地下の温度が凍るほど冷たくならないからさ。

一郎。どうしてでせうね。

父。それは、土が熱の不導體だからで、地上の温度が零下何度といふ寒い時でも、その寒さは地下に影響することが少い。內地の田舎や水道設備のない都市では皆井戸水を使つてゐるが、冬は井戸水が非常に温かく感ずるといふのも地下の温度が地上のやうに下つてゐない證據だ。

一郎。井戸の水は冬も温かいのですか。

父。井戸の水は夏よりも冬の方が却つて温かい。

一郎。變ですね。

父。つまりそれは、地上の夏冬と地下の夏冬とが全く反對になつてゐるからだ。

一郎。どうして反對になるのですか。

父。それは、先にも話したやうに土が熱の不導體だからで、熱を傳へることが非常に遲いため、地下三メートル位のところでは地上の夏の暑い温度が漸く十一月頃になつて達し、冬の寒さが五月頃になつて漸く達する。從つて地下の夏は十一月頃で冬が五月頃といふことになるわけだ。

一郎。三メートルよりももつと深いところの温度はどうなりますか。

父。それは、場所や、土地の性質によつて一様ではないが、十米乃至二十米の深さになると一年中全く同一の温度でそれからだん／＼深くなればなるほど温度が高くなる。

一郎。それはどうしてですか。

父。地熱のためだ、地球のまん中は實に想像も出來ないほどの高い熱度で、地下二十米突以上になると地球の表面の温度の影響は受けないで地熱の影響を受けるのだ、從つて井戸の水も深ければ深いほど温度が高いわけだ

一郎。水道管は隨分深いところを通つてゐるのですか。

父。先づ地上から一米半位のところに埋めてある。それで地上の温度の影響を受けることが少く地上の温度よりも遙かに温かい

一郎。それで地面の下の水道管が凍らないのですね。

父。それで、よくわかつたらう。

モウ三ツネルト オシヤウグワツ ヨイ オトシ ヲ ムカヘマセウ

コトシモ、アトワヅカニナッテシマヒマシタ。モウ三ツネルト、ミナサン、ノ、タノシミシテヰルオシヤウグワツガキマス。

三十一ニチノヨルジヨヤノカネガ「ゴーン」トナツテ、ヤガテウツクシイハツヒガ、オヤマノムカフカラ、サツトカホヲダスコロニハ、ミナサンハ一ツヅツオニイサンニナツタリ オネエサンニナツタリシテヰマス。

ミナサンハ、ガクカウノセンセイヤ、オトウサンヤ、オカアサン ナドト オシヤウグワツカラマモルコトニツイテ、ナニカオヤクソクヲシマセンデシタカ。

「ボクハオシヤウグワツカラニツキヲツケマス」

「ワタシハオカアサンノオテヅダヒヲシマス」

「ボクハムダヅカヒヲシナイコトニシマス」

「ワタシハハヤオキヲシマス」

ナドイロイロノオヤクソクガアリマセウ。マタ

「ワタシハライネンカラモウナキマセン」

「ボクハイモウトヲイヂメマセン」

「ボクハオトウトトケンクワヲシナイデス」

「アタシハゴハンヲコボシマセン」

ナドトイフノモアルカモシレマセンネ

トニカクミナサンハオトシガ一ツヅツヨケイニナルノデスカラ、コトシヨリモ一ソウオリコウニナラナケレバナリマセン。ソシテライネンハウマノトシデスカラウマノヤウニゲンキニナリマセウ。

コドモページモコトシハコレデオシマヒデス。ライネンマタオメニカカリマセウ。デハヨイオトシヲオトリナサイ。サヨウナラ…

兒童の作品

日本と支那

常盤小學校三年　中村一馬

ぼくはストーブのそばで、にいやんと支那がよいか、日本がよいかと、いひやいをしました。にいやんは「私はしながよい」といひました。僕は「日本がいい」といひました。にいやんは「支那なんか國が大きいから、へいたいもたくさんをるぞ」といひました。僕は「支那なんか三大强國にはいらんからだめだい」といつて、げんこつで机をなぐりました。にいやんは白ぼくを持つて來てこれが支那之が日本といろ／＼書いて「はじめに朝せんをやつつけて日本やつつけて、いろ／＼な國を後でやつつけてしまふ」といひました。僕は「そんなことがあるもんか、日本は支那をたすけてやつてるんだぞ」といひました。にいやんはするじ場ににげて行きました。ストーブを見ると、えんとつはまつ赤になつてもえてゐました

スケートグツ

沙河口校一年　高本正

キノフ　ノ　バン　ニ　スケートグツ　ヲ　カツテ　イタダキマシタ。ソシテ　アサ　オキテミマスト　スケートグツ　ガアリマシタ　カラ　ハイタラトツテモ　ウレシイカツタ　ノデ　ソノ　クツ　ヲ　テ　カラハナシマセンデシタ。

ナガグツ

沙河口校一年　內藤滿夫

ボク　ハ　オトウサン　カラナガグツ　ヲ　カツテ　モラヒマシタ。ボク　ヘ　ウレシイカツタ。ボク　ハ　アサ　ソノクツヲ　ハキマシタ。ソシタラチヨツト　オホキカツタ。ソシテ　ソノ　ナガグツ　ヲ　ハイテ　ガクカウ　ニ　イキマシタ

オマンヂユウ

沙河口一年生　山下信義

キノフ　ノ　バン　ボク　ノオトウサン　ガ　コウジヨウカラ　カヘツテ　キテ　サンパツ　ニ　ユクタツテ　ユツタ　カラ「オトウサン。チヨツト　マツテサンパツ　ノ　カヘリガケ　ニオマンジユウ　ヲ　カツテ　キテチヨウダイ」トボク　ガ　イヒマシタ。ソシタラ　スグ　モツテ　キタカラ　ヨロコンデ　オマンヂユウ　ノ　ソバ　ヘ　イキマシタ

タンジヨウビ

大廣場小學校一年　藤田信子

ワタクシノ　オタンジヨウビハ十一月二十五日デス。二十五日ヘ月エウビデシタカラ　二十四日ノ日エウビニ　オイハヒヲシマシタ。ハヤシヤウコウニ　デンワヲカケテ　オセキハンヤカステーラヤ　オヤウカンヲカツテイタダキマシタ。オネエサンガ　ヂヨガクカウデ　オナラヒシタオゴチサウヲ　タクサンコシラヘテ　クダサイマシタノブコハ　ウレシクテ　タマリマセンデシタ。ミヤコサンヲヨビニイキマシタガ　オルスナノデ　オトナリノミチコサントオムカヒノ　キミコサンヲ　ヨンデキマシタ。オムカヒノオバサマモ　イラッシヤイマシタ。モウ　テイブルニハ　オゴチサウガ　タクサン　ナラベテアリマシタカラ　ミンナデ　オイシクタクサンイタダキマシタ。オゴチサウガスンダアトデ　ユフギヤ　オショウカヤ、オハナシナドヲシテ　オバサマニオ目ニカケマシタ。ホントウニウレシイオタンジヨウビデシタ

イモウト

常盤小學校一年　鶴岡好子

ウチノ　イモウトハ　カハイイデス。私ガ　ベンキヤウシテルトキモ　マネシテ　ホンヲヨムマネヲシマス。オナカガスクトオチチヲノンデ　ネテシマフ。マタオキテキテ　私ノセナカヘスガリツク。ワタクシガ　アソビニユクトキハ　ナキダシマス

ポプラのすもう

大廣場小學校尋二　柴田正一

ポプラの葉つぱをとつて來て赤くてかはいいくきのとこでポプラのすもうをとらせます

僕もふといのをとつて來てまけたりかつたりしてるうちお手々がいたくなりました。

子犬

嶺前小學校三年　田邊ふみ子

おかし　ほしがる
子犬さん
ちん／＼おしなと
いひますと
ちん／＼しては
ころびます
子犬さん
ビスケツトほしいか
いくらないても
だめですよ
これは　おあづけ
わん／＼
お目々くる／＼
子犬さん
「よし」といふまで
だめですよ。

冬のスポーツ

【賑ふスケート場】

◇各學校は二十五日から一齊にお休みになつた。

◇休みになつたら思ひ切り辷つてやらうと、大小のスケーターがスケートにヤスリをかけて待ちかまへてゐると、意地悪くもその日からあの暖かさ。

◇滿鐵池の氷が、讓歩なしにドロ／＼溶けるのでスツカリしよげ切つてゐると、一昨日あたりから又寒さが盛返して來てスケート場のコンデションがよくなつた。

◇かくて鏡ヶ池や、春日池や、兒島製氷裏のスケートリンクは得意さうにスイ／＼と辷るもの、ホッケーに興ずるもの、辷つてころぶもので大賑はひ。

こゝしばらくはスケートの世界である。

【寫眞＝右は鏡ヶ池、左は兒島池のスケートリンク】

白墨の粉

▲下藤秋月兩校の校長堂長任命、訓導の異動及公學堂視學の異動は歳末の初等教育界を一寸賑はせた。▲下藤の新校長古川君は年次から言つても人物から言つても先づ非難のないところ、しかも八面玲瓏のところ頗る妙、定めしいゝ學校が出來るだらうと今から評判がよい▲松林校中川君の旅順第二小學校へ轉勤は動機から見て先づ榮轉と見るべきもの▲秋月の堂長は本紙の既に豫言した通りやつぱり旅順師範學堂の中田君に白羽の矢が立つ▲昭和四年の學校轆轤も之を以て目出度く大團圓か

新刊教育書紹介

▲愛兒と家庭（一月號）表紙は例によつて千島氏の筆、記事には家庭訪問記學習指導記事等の新しいもの ゝ外、いつもの顔觸れの人々が筆を執つてゐる。岡山良之助氏の「牛渡馬渤」は最も面白く讀んだ（廿五錢、大連實業學會）

平安異香 (214)

葉多默太郎作 一彌畫

奔流 (二)

「その、お大將、輿がぢつと此方を見てゐると思ふと、輿に附いてゐた侍が四五人、ばら〳〵と河原へ下りて來て……」

と、舞臺は一變して使廳の捕吏の溜で、話してゐるのがからつげつの勘兵衞、聞いてゐるのは黒住源入郎だつた

「その侍が、今引つ括つたばかりの寮光と宰を渡せといふ。お前さん達はどなた樣で——ときくと、名前は聞くに及ばぬ、心配せずに引渡せ——といやがる。そつちは及ばなくても、此方は及ぶんだ。召捕者を名前も聞かずに渡してたまるものか——とたんかをきつてやると、いゝんだよ〳〵と、人を子供扱ひにしやがる。そのうちに高倉さんが輿に目をしよぼ〳〵させるんで、何の呪禁だといつてやると、高倉さんが小さな聲になつて、どうも別當の乘物のやうだぞ——といふんだ。びつくりして乘物を見ると、見覺えのある輿だ。が、さうだとはいはない。撿柄づくで、うやむやに連れて行つてしまつた。死んでも渡すんぢやなかつたと、今では思つてゐるんだがその時には誰も文句が云へなかつたんです」

「へえ、そりやもう——連中は東山の勸修寺邸へちやんと入つてゐる。あつしの跟けてゐるのを知つてゐながら、知らぬ顔してゐやがる。捕吏の下つ端の眼が何をどう見たつて——といふ向ふの肚なんだから惜ねエつてありやしない」

「さうか、まあいゝや」

「ぢや、このまゝしつとしとくんかね」

「別當はまだあの娘に未練があるのだらう」

「だつて、お大將……」

「まあいゝ——仙のお方に渡したんでなし。何か別當にも思惑がおありなんだらう」

さういつて、源入郎は口惜しがる勘兵衞にとりあはなかつた。

が、その後も町へ出る時も氣分が惡いといつて勝屋を變へ、ごろりと横になつたのを見た時に、大路口ではあんなにいつてたが、氣にしてゐることは氣にしてるんだ——と勘兵衞は考へた。

勘兵衞が、燈の下つかが灯を持つて來た時、源入郎はつむつてゐた目を開けて、

「もう、そんな時刻か」

といつた。

「湯漬を一杯食ひたいが、食へるか」

そして、湯漬を食ふと、帯を締め直してぶらりと出て行つた。

檢非違使廳の長官である勸修寺師輔の節操に疑ひを抱いてゐた源入郎は、勘兵衞の話を聞いてゐる裡に、それは女ばかりの問題ではあるまいといふやうな氣がした。

知つて寮光がその目的の物ではあるまいかと思ひ、或は既に、大悲山の翳と撼擬が出來てゐて、今度の運動に、ひそかに援助してゐるのではあるまいかといふ所まで、疑心が伸びて行つた。

とにかく、少し手を入れてみよう——

源入郎は町をぶら〳〵歩いて、日の暮れきるのを待つて東山の勸修寺邸の塀外に立つた。

勝手はよく分つてゐる。奴袴の股立を高くして、布衣の袖を背に結び、懷中に忍ばせた繩をとり出して投げると、一丈ばかりの築地の屋根にかつきとかゝる。星明りに木下闇の窺ひ、繩を攫み、塀を塀について タタツと一氣に腕のぼる。次の瞬間には屋根に手がかゝつてゐる筈の源入郎が、

どうしたのかタツと塀面を蹴つてもんどりうつて地に立つた。同時に上から落ちたものがある、落ちると同時に鞠のやうにはね上つてきらつと、星にきらめく閃光だ。

「うぬ!」

と源入郎、かはして、敵の腕を掬きこみ、足攫みにねぢ伏せた。

「誰だ、名をいへ」

しかし曲者は答へない。

源入郎は曲者の體つきを手で探つてゐたが、何か思ひあたる事があつたらしく、僅に手をゆるめて

「危いではないか。氣をおつけなさい」

いつて立去らうとした。と、

「お前さまは、源入郎どの——」

驚いたやうな女性の聲だつた。

發聲映畫の大日活

(六) 正月映畫陣

常盤座と共に新館を擁して大連映畫界に雄飛せんとする大日活は一九三〇年の滿洲映畫界の尖端をゆく意氣込みでパラマント社と提携して發聲映畫への進出を計畫しシネホーン發聲映寫裝置機と技師を招聘し第一週より發聲映畫を上映しトーキーに對する興味を煽ると共に日活作品は人氣俳優を中心に特作品を揃へて堂々たる陣容を張つてゐる、第一週は佐々木味津三原作志波西果監督大河内傳次郎伏見直江主演の「謎の人形師」を内地と同時封切し發聲映畫はパラマウント社の特作猛獸映畫でリチヤード・アーレンとフエイ・レイ孃共演の「四枚の羽根」を組み動物映畫を愛好する大連のフアンにサウンド・ピクチユアで動物の鳴聲等を聽かせて絶對的な興行成績を狙つてゐる。第二週は花形俳優として人氣の頂點にある片岡千惠藏主演の「愛染地獄」第一篇と日活の本年度秋季特作品としてヒツトした村田實監督の移動撮影文藝映畫社同人合作の「魔犬樺鬪爭篇」を組み前者は花柳界方面に後者は映畫ファン方面の景氣を煽つてゐる第三週は「愛染地獄」の第二篇を引續き上映しトーキーはハロルドロイド主演の發聲映畫「危險大歡迎」を以て大いに呼びかけてゐる第四週以後の番組も全部決定し出來るだけ各週とも賑はい一卷乃至二卷物のトーキーを添物として優秀番組と共に發聲映畫を呼び物としてゐる、尚正月第一週に限り毎日午前十一時から開館して連夜三回興行である【寫眞は謎の人形師】

喜樂會入場料

一行卅一日來連

田宮米峰、秋月源之助の喜樂會一行が常盤座の初春興行に出演のため卅一日入港のばいかる丸で乘込み元日より華々しく開場するが、入場料は特等二圓、一等一圓八十錢、二等一圓三十錢、大衆席七十錢、小人五十錢均一で場所取りは年内から受付けてゐるが前景氣頗る盛であると【寫眞は田宮米峰】

青年會館で正月映畫會

大連基督教青年會では、明年新春一日より三日間大連エクラン社同人主催・青年會後援で上映々畫はメトロ、ゴールドウイン超特作シエストローム監督、涙の女優リリアン、ギツシユ主演で、ナザニエルホーソン不朽の名作「眞紅の文字」及び同じくメトロ社の大戰映畫、ニール・ハミルトン、メイ・マレー主演「輝れ吾家」の二本であるが、二本とも映畫として本格的の物であるから新らしい人々の好評を呼び、相當の成功をおさめるものと見られて居る

酒井雲の讀物

大劇正月興行

大連劇場の新春興行を飾る文藝浪曲の創始者酒井雲一行は酒井金時橘右近中川鯉昇酒井東風酒井雲士丸その他の花形若手を揃へ來る三十一日入港のはるびん丸で乘込み元旦より開演することになり浪曲愛好者から非常な期待を以て迎へられてゐる、五日までの重なる讀物は左の如くである

▲初日酒井雲(本能寺、蛇腹の金太)酒井金時(太刀山)橘右近(第六稲荷)中川鯉昇(淀川花丈——三日まで)

▲二日目酒井雲(眞如、深川情話)酒井金時(明作と名馬)橘右近(一讀の妻)

▲三日目酒井雲(坂崎出羽守、深川情話)酒井金時(直井)橘右近、忠僕の仇討)

▲四日目酒井雲(恩讐の彼方、深川情話)酒井金時(文七元結)橘右近(武士の娘)中川鯉昇(義士の誠)

▲五日目酒井雲(加賀騒動、嗚呼無情)酒井金時(女大學)橘右近(小牧山青物語)中川鯉昇(出世の春駒)

噂話

今年の演藝界は芝居らしい芝居もなく僅かに各種の演奏會と浪曲で賑はつた位のもの▲映畫界は問題の大日活が許可されて先づ新裝成り次いで常盤座が落成した▲二館ともに興行場取締規則によつたもので大連映畫館改造の第一歩を踏み出した年であつた▲それに大小の撮影術數が行はれ現在尚繼續中のものもあつて來年へ持ち越す▲さて一九三〇年の映畫界はトーキーの夜が明けさうであるが正月興行の軍扇は何處へ▲帝國演藝館、大日活が第一週だけを晝夜三回興行をする▲けふで噂話も今年はお終ひ、皆さん良い歳を迎へて下さい。

買物ニュース

▲常盤橋側の天滿屋ビル内に十四日からデワーホースが開店された、美酒紅燈、それに美人を配して評判を呼ぶ

▲新裝成つた常盤橋側の偉觀八層樓の天滿屋ホテルは愈々一月五日開業することになつた

日本は平和政策により軍縮の達成に努力せん

、ロンドンにおいて發表したる若槻全權の聲明內容

【東京二十八日發電】若槻全權がロンドン到着の際發表したステートメントは二十八日外務省より發表された、全文左の如し

イギリス政府よりの招請に應じ會議に出席すべく無事此旅行を終へた事は余等の最も滿足に思ふ所である、余は旅行の途中アメリカ合衆國を通過しアメリカ政府當局との間に非公式會見を爲し尙ほ商議を行ふ機會を與へられたことを欣快とするものである、而して**アメリカ當局との會談は頗る有益**なものであつた、今や余等はロンドンに到着し尙ほ會議開催迄には多くの日時が殘されてゐるを以て余は余及び余の同僚はイギリス政府當局との間にアメリカにおけると同樣**率直なる意見の交換を爲す機會が得られる事と信ずる**、余等は非常な期待を以て到着した、余等は會議の圓滿な進行に資する爲め全力を盡す事を希望してゐる、日本國民及び日本政府は共に會議が成功を收め海軍々備制限のみならず實質的の縮小が實現する事を切望してゐる、日本はイギリス帝國及びアメリカ合衆國と比較して劣勢なる海軍力を以て滿足せんとするものである、日本の要求する所は日本帝國の安全保障に在つて未だ日本は攻勢に出でんと考へた事はない、余は**日本の平和的政策が必ずや本會議の崇高なる目的達成の爲めに列强と共に重且つ有効なる協力を爲すことを可能**ならしめるであらう事を確信する、余等は新らしき信賴と行爲とに基く各國の感激に依り今般の會議が必らずや永久的平和建設に關しパリー條約を一層擴大し鞏固なるものたらしめるに至るであらう事を深く信ずるものである

日本の態度を激賞

デイリー・エキスプレス紙の社説

【ロンドン二十八日發電】若槻全權一行の着英を迎へ本日のデイリー、エキスプレス紙は世界平和軍縮達成に對する日本の態度を激賞し左の如き歡迎の社説を載せた

歐洲大戰以來日本は常に世界平和の增進、軍備の縮小の確立に寄與する準備を有して居た英國は世界の他の國には餘りお世話になつた事はないが英國と日本とは常に相協力して國際的調和のために重大な効果を與へて來た日本は世界改造に忠實なかつ非常に助けになる國であつた過去十年間に日本程政治家が道德を信實に示めした國はなかつたと信ずる

三全權鼎座してロンドンで初會議

根本對策に就いて協議

【ロンドン廿八日發電】若槻、財部兩全權は午後三時半から六時迄松平大使を加へて初會議を行つた大使は今日迄の日英豫備交渉の經過を詳細に報告し、英、米、佛、伊關係についても情報を傳へ腹藏なき意見の交換を行ひ根本對策を協議した

ウ氏財團賞金

【ニューヨーク廿八日發電】前大統領ウイルソン記念財團は本日氏の誕生記念日に際し千九百廿九年度同財團平和賞金を國際聯盟に與ふべき旨を發表した、即ち同聯盟は過去十ケ年に亘り世界平和に寄與したる尊き奉仕に對して與へられるもので右賞金はジユネーブに新築中の國際聯盟事務局のウイルソン記念とビラの費用にして用ひられる筈である

マ英首相と我全權の會見期

一月十五日頃の豫定

【ロンドン廿九日發電】英首相マクドナルド氏の避寒旅行は來春一月十四日に終る事となつて居るため若槻全權は同首相との初會見は十五日頃に行はれる筈である、一部ではマ首相が先般の訪米旅行から歸國して以來元氣なしと心配して居る向きもある同首相の元氣が稍銷沈して居る事は事實であるが健康を害した程度ではなく、マ首相は漸く近來るべきロンドン軍縮會議を嚴然の大事業として全力を傾倒する意向なる事は疑ひない

バッキンガム宮殿に參內

【ロンドン廿八日發電】若槻、財部兩全權は本日バッキンガム宮殿に參內し英國皇帝陛下に御挨拶申上げた、陛下は目下サンドリンガムに御靜養中のため訪問錄に署名して退下した

陣容の一部變更さる

全權の到着で

【ロンドン廿八日發電】全權一行の着京により我陣容に一部の變更を來し獨立事官は若杉一等書記官等を以て情報部を設け齋藤情報部長は若槻全權專屬となつて會議は論會見に於ける一切の通譯を擔當する事となつた今の處全權等は當分ホテルで事務を執つて居るが近く急ぎ事務所を開設する筈である事務所はグロヴナー、スクエーア十番地の松平大使官邸向側で一月五日迄には準備完了の筈である

松平大使の晩餐會

日本料理で

【ロンドン廿八日發電】駐英松平大使は本夕若槻、財部兩全權並に財部夫人を大使官邸に招待し非公式晩餐會を開いた松平大使夫人の心盡しの日本料理と生粹の日本酒に一同は打寛いで旅情を慰められた

國際列車で戰線突破の記(七)

官憲の威力も利かぬ露男女の甘い痴話

電話口で一行が大焦れのここ

神藏特派員

二十一日愈々最後の日が來た、米國領事ヘンソン氏から電報で「準備を整へて再び入行する筈につき一先づ引揚げよ」と來た、領事館の命令なら又何をか言はん、早速支那側に通告する、胡軍長は病氣の爲め委託議を代理に派遣して來た、機關車が連結される、見送りの兵隊がずらりと並ぶ、ゴトンと發車しようとした時、松領事官補に哈爾賓から電話だと云ふ、發車を遲らして電信室にと驅けつける、さア大變だ又もや中止命令かも知れぬ、所が電信室に行く間に電話が切れてしまつた、哈爾賓を呼び出すけれ共どうしても出ない、◇齊々哈爾から先が通じない、三十分も待つたが出ない米國領事が札蘭屯で監査することがあるから日のある內に行かねばならぬと駄々を捏ね出して、然し此方はどんな重要事件かも知れぬから是非聞かねばならぬ、停車場司令官が飛んで來て電話係を叱り飛ばすが線がふさがつてゐるのだから仕方がない、停車場司令官が眞紅になつて怒り出した、「一體どんな話をしてゐるのか聞いて見ろ」

との嚴命だ、電話係が耳を澄まして聞いて見ると哈爾賓の男とチ、ハルの女と話してゐるがどちらもロシア人で男は醉つてゐるらしいと正直に云ふ、司令官が今度は◇電話機を耳にあて、チ、ハルの停車場司令官に電話をかけて曰く

「あれ程至急だと云つてゐるのに何故つながぬ、こちらは外國の領事が話すのだ。一時間電線を占領してイチヤつくと云ふ法があるかすぐ切つてしまへ」

と、それでも其會話は續けられてゐる、とうく待ち兼ねて一同どんな電話だらうと心配し乍ら午後五時に札蘭屯についた、早速哈爾賓に問ひ合せて見ると別に用事はないが引揚電報を打つたがついたかと云つたのだと、それならあんなにヤキモキするのぢやなかつた、札蘭屯では昨日齊々哈爾に歸つた野の趙尹が滯在してゐた、茶菓を差上げたいから一同司令部までお越し下さいとのことだつたが、此方は忙しい用事がある、鄭重乍ら斷つて當地で◇唯一の邦人 藤田氏を訪ね模樣を聞く、

札蘭屯は支那軍の退却當時掠奪があるだらうとて商人は皆財產を地下室に入れたが幸ひ何事も無かつた、博克圖、海拉爾其他で掠奪した品物を盛に賣りに來たが後難を恐れてあまり買つたものが無いと避難所は一時殺到したが今はめつきり減つてゐるロシア人は海拉爾、三河、博克圖方面から七百人許り避難して來たが大抵家畜をつれて來てゐるので捨値で賣り飛ばして哈爾賓方面へ赴いた、今では田舍に二三百人居る許りである

正月休は溫泉へ

朝鮮の著名な溫泉調べ

年末年始の休暇をどうして暮すか?都會の紅塵を避けての溫泉氣分こそは、俗務を忘れる唯一の慰安に一家總出の溫泉旅行に—朝鮮は眞に溫泉樂土である

◇東萊溫泉◇ ＝釜山驛から

釜山通過の名士が必ず足を運ぶ全鮮隨一の名泉である。驛前から電車か自動車で三十分、二十餘の旅館料理店が軒を並べ、內地の溫泉町を髣髴せしめるのも懷かしい附近の海雲臺、梵魚寺も有名な蹟である

◇儒城溫泉◇ ＝太田驛から

京城驛を午前七時卅五分發の釜山行に乘ると正午過ぎに太田驛に着く、溫泉までは自動車で卅分、公州街道に新設された明るい感じの溫泉場である

◇溫陽溫泉◇ ＝天安驛から

國王の入浴、大院君の浴室と、古來から有名な溫泉である、客室遊戲場、遊園等の設備も完成してゐる、京城から三時間足らずで天安、京南鐵道で卅分で達する

◇龍岡溫泉◇ ＝鎭南浦驛から

京城發午前九時五分で平壤着が午後三時六分、鎭南浦行に三時廿分に乘ると四時四十分に到着、自動車を一時間半で溫泉に達する、泉質は無臭透明である

◇信川溫泉◇ ＝沙里院驛から

東萊、儒城等に比し閑靜なだけ眞の保養客には恰好の地、ホテルも完備してゐる、附近には黃海金剛の稱ある長壽山の勝景がある、京城から沙里院驛へ約五時間、黃海鐵道に乘換へて二時間を要する

◇溫井里溫泉◇ ＝欽谷驛から

溫井里は東萊と共に鮮內溫泉の雙璧。今更架設の必要もなからう元山驛から延長した欽谷驛で下車すると便利である、暇のある人は金剛山探勝を見逃してはなるまい

◇朱乙溫泉◇ ＝朱乙驛から

環境の景勝絶佳旅館はいづれも朱乙川に臨み、溫泉の湧出量も頗る豐富で、內湯暖房用水も完備し浴後には釣魚の興も添へられる京城からは元山經由、新北靑から淸津行列車で朱乙驛下車自動車で三十分

陳情委員を派遣

製鋼所、關税二問題に關し 大連商議工業部會で決定

大連商議工業部委員會は二十八日正午から昭和製鋼所設置問題及び關税制度改善問題につき第二段の運動方法を協議した、其結果同問題は滿蒙開發上重大なる關係を持つもので今少し合理的積極運動をなす必要あるとの意見一致を見、政府首腦者に實情陳情のため二名の上京委員を派遣するに決定した而して上京期日は明年早々役員會に於て決定を見る筈であるが遲くとも一月中旬には上京の豫定である、なほ上京委員は目下銓衡中であるが多分村井會頭と磯崎書記長となる模樣である

重光總領事南京行

公使問題交渉

【上海廿八日發電】重光總領事は廿八日の夜行で南京に行き一月一日の國民政府最初の新年祝賀式に參列する事となつたが、重光氏が豫定を早め南京に行くのは小幡公使のアグレマン督促につき王正廷氏と交渉を行ふためだと信ぜられて居る、然し總領事は此の推測を否認して居る、支那側では重光總領事の南京行きが早きは小幡問題と見反對氣勢を强調して居る

佛の軍艦建造案

下院で承認した內容

【パリー廿八日發電】佛下院は本日軍艦建造案を承認したが、その內容は左の如くである

一、一萬噸級巡洋艦 一隻
一、驅逐艦 六隻
一、一等潛水艦 六隻
一、水雷布設潛水艦 一隻
一、水雷布設艦 一隻

尙右につけ加へて布設水雷、魚雷其の他軍需品の充實計畫も含まれて居る而して右計畫はロンドン會議の情勢如何に係らず直ちに實行さるべきものである政府の企圖する處では右と同程度の海軍費を今後年々繼續支出し千九百四十三年迄にフランス全海軍の新勢を實現せんとして居る此の企圖が遂行されゝばフランスの海軍は

一、戰艦 十七萬五千噸
一、一萬噸巡洋艦及びその他の水上補助艦三十九萬噸
一、潛水艦 九萬六千噸
一、航空母艦 六萬噸

を含む譯である

防備費も通過

【パリー廿八日發電】フランス下院は國防費廿億フラン及び防空費四億フラン支出案を通過した

政友納めの幹部會

【東京二十八日發電】政友會本年度納めの幹部會は二十八日午後一時半より本部にて開催犬養總裁以下各總務、各部長、森幹事長等出席

一、一月一日午前十一時本部にて拜賀式擧行の件
一、一月二十日定時大會開催の件

を決定の後現下の政局につき種々懇談する所あつたが、議會再開劈頭解散となるか、或は其前に疑獄事件の進展に依り內閣崩壞の運命に立入るか若しくば解散なしに濟むものか前途俄に逆睹し難きものあるので黨として形勢の推移を嚴重監視し機宜の處置を執るに一致し幹部は休暇なしに本部に出ることゝし二時散會した

露支正式會議開始の準備的協議を終る

張學良氏の諒解を得て全權一行昨夜離奉し吉林へ

【奉天特電二十九日發】シマノフスキー、蔡運升氏等露支交渉全權委員一行は本日午後四時より北陵別莊に於ける張學良氏の正式歡迎晩餐會に臨みたるを最後として正式會議開始に對する準備的協議及び兩國交驩促進等の來奉の目的を大體達したので今夜九時二十分發列車で離奉、吉林に向ひ張作相氏と會見し張學良氏に對して爲したと同樣の報告を爲し諒解を求むる筈である

外交權の放棄と傍系會社の整理

仙石裁の滿鐵根本的改革案 來月首腦會議で審議

【東京二十八日發電】仙石滿鐵總裁が滿鐵經營方針を根本的に改革せんとする意圖を有し二十七日の松田拓相との會見に際しても種々此點に就き意見交換を行つた結果大體意見の一致を見た、仙石總裁の滿鐵改革に關する腹案は

一、滿鐵の外交權拋棄
一、傍系會社の廢合整理
一、職制改革
一、昭和製鋼所計畫の根本的立て直し

等で右の中最も重大視されてゐるのは從來滿鐵で主管してゐた鐵道問題其他に關する外交權を拋棄せんとするにあるが、之は從來二重外交三重外交として我國の外交方針を不統一ならしめ尠からざる不利益を與へて來た弊を矯正するものであるのみならず又所謂滿蒙四頭政治の弊害除去の前提をなす處の重大改革案であるが、問題が問題であるだけに愼重に調査研究の上決定する必要あり具體案に就ては來春早々十日若くば十五日頃濱口首相を始め幣原外相松田拓相仙石總裁等が會合審議決定する事となつた

行政權問題協議

仙石總裁、外相訪問

【東京電二十八日發】二十七日拓相と會見した仙石總裁は二十八日午後三時更に外相官邸に幣原外相を訪問し約一時間に亘り滿鐵附屬地行政統一問題、在滿鮮人保護問題その他の滿洲問題につき種々懇談する所あつた

謹告

從來哈爾賓に於ける弊紙は其の一部を石山商會內今泉忠次氏に販賣せしめ居り候も今般都合に依り全部一纏めとして地段街每日舍に取扱はしめ候に付一層の御愛顧賜り度御願申上候

滿洲日報社

政局推移と野黨觀測

【東京二十八日發電】議會も年內解散を行ふことなくして休會となり政界もホッと一息の態であるが年內解散の行はれなかつた事は政界及び各方面共何れも解散を希望せぬ事が主因を爲し其他政友會が主戰的態度に出でなかつた事政府與黨に於てまだ解散斷行の機運が熟してゐなかつた事などが副因を爲してゐるやうである、而して政友會側の見る處では政府が遂に年內解散を斷行し得なかつた原因は小橋前文相に關する疑獄事件の進展に在り即ち小橋氏の起訴につき檢事局と司法首腦部との間に意見の疎隔があり之が政府をして解散斷行の決意を甚だしく鈍らせたものであると云ふにある、從つて政友會の觀測に依れば今後小橋氏事件の進展は政局上に意外の波瀾を捲起し司法首腦部が檢事局を壓迫し得れば兎も角小橋氏の起訴は遂に政府をして自滅の外なき窮地に陷いれるであらうと其成行に注目してゐる

飽迄解散斷行方針

政務官會議決定

【東京廿八日發電】本年最終の政務官會議は廿八日午前十時より首相官邸に開會されたが席上橫山商工次官は商工審議會の產業合理化答申案につき詳細說明して之が實行方法として有力な中央機關新設の意向を開陳した尙政局につき懇談の結果飽く迄解散斷行の方針を持して進む事を申合せた

兩署長赴任期

新任奉天警察署長川合又一氏は三十日午前七時廿五分旅順驛發列車で赴任の筈尙新任四平街警察署長[illegible]安東警察署主任鮫島警部は廿八日午後一時廿五分離旅赴任した

我國の銀行數

九百七十五行

【東京廿九日發電】大藏省の調査によれば我國銀行數九百七十五行で前年末に比し百四十三行の減少である

辭令

【東京二十八日發電】

領事 田代重德
兼任關東廳事務官(四等) 關東廳事務官兼外務事務官 三浦義秋
免本官、專任外務事務官 關東廳警視兼外務省警視 中尾大次郎
免兼官(各通) 同上 尾崎三郎
漢口總領事 桑島主計
任大使館參事官、命伊太利在勤 大使館一等書記官 天羽英二
任大使館參事官、命勞農聯邦在勤 總領事 坂根準三
命漢口在勤 大使館一等書記官 天城篤治
命勞農聯邦在勤 香港總領事 村上義溫
命ハンブルグ在勤 吉林總領事 川越茂
命靑島在勤 領事 西田畊一
任總領事、命濟南在勤 總領事 藤田榮介
命香港在勤 總領事 吉田丹一郎
罷免靑島在勤、臨時外務省ノ事務ニ從事スル事ヲ命ス 領事官補 重松宣雄

關東廳辭令(廿四日付)

圖書館長兼務ヲ命ス 關東廳事務官 御影池辰雄
同(廿七日) 體育研究所長兼務ヲ命ス 關東廳視學 土方省三
任關東廳中學校教諭 關東廳技手 木谷勘次郎
願ニ依リ本職ヲ免ス

人事

▲田畑文氏(長春滿鐵勤務部)轉住挨拶のため廿九日市內歷訪

安樂椅子

トルコ大統領ムスタフア・ケマル・パシヤは今度養子を貰つた。ケマル養女は既に五人もあり何れも革命戰爭で孤兒となつた將校の娘▲第一養女のネビレ・ハニム孃は最近トルコ外交官と結婚し他の四人は何れもまた通學中だが最近大統領が巡場視察のためヤロダア附近に出かけた時道を尋ねたのが一少年が偶然にも大統領の第一子として貰はれる身になつた。この少年は貧しい小作人の子で一ケ月三圓ばかりの報酬で羊追ひに雇はれてゐたのであるがその賢さうな顏立ちと[illegible]のいぢらしい姿が大統領の目にとまつて一躍金殿玉樓に拾ひ上げられたのである。少年は先づ當地の病院で健康な子供になつた上で學校に通はされることになつてゐる、少年は大きくなつたら偉い軍人になるのであると。

滿蒙色橫溢

新春の滿日紙

昭和五年、新春の滿日紙は勅題「海邊巖」をオフセット版グラフイツクにて竹の園生の御繁榮を壽ぎ奉ると共に新進作家三上於菟吉氏の「戀の地獄」(鶴田吾郎氏挿繪揮毫)の封切り、滿蒙色を橫溢さすべく左の諸大家の執筆を煩はし讀者各位の要望に奉仕することになりました。

新春號執筆者(順序不同)

石本鏆太郎氏 田中千吉氏
兒玉秀雄氏 吉田辰秋氏
森本幸治郎氏 畑英太郎氏
寶吉吉郎氏 田中定一氏
[illegible]軍醫部長氏 石射猪太郎氏
松田源治氏 太田政弘氏
仙石貢氏 大平駒槌氏
井上準之助氏 貝瀬謹吾氏
中西敏憲氏 倉賀野一晉氏
石森延男氏 中澤不二雄氏
岡部平太氏 大塚幹一氏
富永能雄氏 森富男氏
宗光彥氏 小林胖生氏
中尾國次郎氏 仙波久良氏
若竹又男氏 伊澤信一氏
升巴倉吉氏 島野三郎氏
井手正壽氏 竹內克巳氏
本間久吉氏 伊藤淸造氏
大村卓一氏 池田季藏氏
安藤忍氏 篠原忠男氏
瀨谷佐次郎氏 中谷政一氏
山田武吉氏 八木沼丈夫氏
稻葉亨二氏 橋本八五郎氏
高津敏氏 大野斯文氏
芥川光藏氏 日向保良氏
小谷百合子氏 今西ツネノ氏
辻忠治氏 石原巖徹氏
井出澂三氏 南次郎氏
今村武六氏 加藤明氏
石田禮助氏 野田蘭水氏
高橋武夫氏 高見三吉氏
霜山忠雄氏 橫田多喜助氏
伊藤久太郎氏 加藤敬三郎氏
森廣藏氏 鈴木鶴吉氏
來栖健助氏 土方久徵氏
村井啓太郎氏 神成季吉氏
長出節氏 小倉鐸平氏
今尾松翠氏 谷山知生氏
馬場鍈一氏 川口四郎氏
石田吟松氏 伊藤順三氏
宮本卿芳氏 塚本孝氏
紙谷興太郎氏 平島信氏
小坂準三氏 眞山孝治氏
坂本高氏 山西恒郎氏
宮尾舜治氏 西山勉氏
高橋勇氏

鐵砲打もモウ駄目だと 或放浪青年の嘆聲
電園下社會館に泊り込の記(上)
師走を行く(28)

押し迫つた歳末三・四日は正に生存鬪爭の血みどろな白兵戰である。殺しつ殺されつ不況嵐の下に死物狂ひな惡戰苦鬪に嫌でも一年間の總決算をつけなくてはならぬ。戰鬪力ある者は刀折れ矢盡きる最後の力迄に鬪ふ、だが養成病院も無い看護婦も無い生活鬪爭に於ては、戰鬪力を失へる者は荒野に生に喘ぎ乍らも敗戰の身を曝さねばならぬ。

▽──△

○○日夕七時記者は電園下社會館に一夜の宿を乞ふた、受付で原籍、職業氏名、前住所、行先地を記して二十錢の宿賃を支拂ひ、に號室の四十九號と敎へられた寢室を探して行く。

「今晩は、御厄介になります」親愛を求むべく先づ敬意を表しておく。

「さあいらつしやい、お寒うござんしたらう」

些か滓濾氣味の記者には心中恥入つた褌打解けた温い心だ。二十疊敷程の室の眞只中に二十燭の電燈が一つ、鐵製の上下二段になつたベッドが四つ宛二列に並んでゐる、室内はスチームが通つてゐて暖かい。ベッドから鎌首を持上げた二つ三つの顏の無い顏をみて一寸、窓際の四十九號に這ひ上つて

「今日は冷えましたなあ」と誰彼となく話を持ちかける。

▽──△

「貴方は何處から來なすつたい」と間の抜けた眉間の心の良さゝうな一人、

「今日旅順から來ました、何か良い仕事はありませんかなあ」

「駄目ですよ、わつしも今日仁川から來たんですが、朝鮮も最近すつかり鐵砲が利かなくつて良い儲もありませんよ、何だなあ、是から濟南に渡つて南京、天津、上海、青島と鐵砲打つて廻れば食つて行けるだらうが、大連も此頃鐵砲は警張り駄目ださうぢやないかい」

と我が彷徨ひのコスモポリタンの嘆聲を聽いてゐる所へ一人又入つて來た、氣の忙しさうな男だ。

「お寒い」

と皆一齊に挨拶する。

「おゝ寒い、星ケ浦の大藏滿鐵理事の家へ行つて來た、大藏は分らないが宇佐美さんは分りや早いですよ、僕と門鐵に居る時一緒でしたがね、まあ滿鐵で話せるのは小日山さん、奉天地方事務所の太田さん位でせう、十圓二十圓位ぽいと出しますからね、君のベッドに居た人だがね今京城に居る朝鮮人の金なんかね、平常小松と名乘つてゐたが鐵砲の巧い奴で二十圓貰つて來ると言つたら必らず取つて來たね、そしてお土産だと言つて同室の者に菓子の十圓も買つて來たものだよ、それからみると今は皆溫柔しくなつたよ、鐵砲も利かなくなつたし又事實社會館も質が良くなつたよ」

變に瞳をじろ／＼見られるので記者は毛皮を頭から被つて寢る事にした(寫眞は社會館の寢室)

主義者が煽動した朝鮮の學生事件
全半島に亘つて衝突頻發した
廿八日記事解禁さる

【京城二十八日發電】全羅南道光州公立中學校生及び同地公立高等普通學校生は豫てより啀み合ひの形にあつたが去る十月三十日汽車通學生が改札口の混雜より爭鬪をなしたるに端を發し十一月三日明治節祝賀式終了後又復二十數名が衝突し漸次其數を增し中學生は五六十名となり一方高普生は二百五六十名に達し中學を襲はんとし中學生側は百五十名と對峙し不穩の行動に出でんとし警官隊出動鎭撫解散せしめた之がため多數の負傷者を出し双方の反感は益々激成され一時休校して學校父兄道廳當局に於て善後措置を講じたが外部より此機を利用して思想團體、不逞團體員等の使嗾煽動するありて不穩の氣は漸次全半島に瀰漫し**學生の檢擧さるゝもの三千に近く**當局に於ては直ちに新聞記事の掲載を禁止し**不穩なる策動の主義者を片ツ端から檢擧**したが其數は五十餘名に達してゐる、事件は當局の鎭撫に漸次靜穩となり本日記事の掲載を解除するに至つた

檄文を撒布して暴動を圖る
共産主義者の惡辣なる陰謀

【京城二十八日發電】光州學生事件の餘波を受けて京城に於ては十二月二日城大豫科敎室に不穩檄文を撒布せるものあり更に翌三日京城第一高普、中央高普、普成高普中等學校、女子商業、徽文高普、京津學校、洞德女學校の各學校に右と同樣の

檄文多數 を撒布せるものありて府内各朝鮮人中等學校に頗りに動搖の兆あり次で五日第二高普、六日中等學校、七日第一高普の盟休事件勃發し漸次他校に波及せんとし一般學生は遂に亢奮し來りたるが九日に至り京津學校生徒は團體結束して示威運動を爲さんとする等到底授業を繼續する事能はざるに至り私立學校の多くは休校するの已むなきに至れり京城に於ける學生騷ぎの内容に就ても其檄文の内容及び運動方法より見るも單純なる學生の創意に非ざる事判明し光州事件の元兇張錫天外二名が十一月十八日以來京城に潛入し中央青年同盟所屬主義者等と相謀り

一齊盟休 を敢行し全鮮的示威運動を斷行して暴動化せしめんと各學校生徒を煽動したる事實判明するに至れり尚京城に於て新幹會が十二月十一日深更本部に於て幹部會を開き今日の時局を坐視するに忍びずと稱し民族的見地より一大民衆運動を惹起すべく謀議を進めつゝある事を京畿道に於て探知し事態容易ならずと認め警察部長は幹部を招致し輕擧妄動を戒めたるに其後大勢は益々硬論に向ひ寧ろ敢る共一擧に

事を擧げ んとする氣配濃厚となりしを以て十三日許憲以下新幹會會員其他九十一名を一齊に檢擧し取調の結果光州事件を理由として一大騷擾を惹發せしめんとしたる事につき彼等が今日迄謀議畫策したる内容、經路詳細に判明するに至れり全南、京畿以外に於ける各道の情況に就いては平南に於ては平壤私立崇實專門、平壤私立光成高普、公立平壤女子高普、平壤公立農學校、平壤私立崇仁學校、平壤私立實崇中學、公立平壤高普、咸鏡南道に於ては公立咸興高普、元山公立商業、咸興公立農學校、咸興私立永生學校、咸鏡北道にては公立鏡城高普、江原道にては春川高普、京畿道(京城府以外)にては開城松都高普、公立仁川北商業、公立開城商業、私立開城學堂商業等何れも

動搖を見 るに至つたが要するに今回の學生事件は決して單純なる學生の運動に非ずして全く共産主義者の惡辣なる陰謀に出でたる事は明かなる事實である(警務局發表)

天機奉伺
在京の各宮殿下參内

【東京廿九日發電】御在京中の閑院宮殿下を首め各皇族殿下は二十九日午前十一時頃前後して參内あらせられ天皇皇后兩陛下と御對面、天機ならびに御機嫌を奉伺せられ歳末御祝詞を言上退出あらせられた

飛行機廿五臺 帝都へ初飛行
一月六日に所澤飛行學校で

【所澤二十八日發電】所澤飛行學校では一月六日午前十時より飛行機二十五臺を以て帝都訪問の初飛行を行ふこととなつた、古谷飛行學校長を指揮官に戰鬪隊には靈川大佐搭乘空中軍を組織し所澤より多摩川に添ひ羽田に出で品川より帝都上空を通過中斷を經て歸校する豫定である

Z伯號で北極の探險飛行を計畫
獨逸航空總會で發表

【ベルリン二十八日發電】ドイツ航空總會は千九百三十年に於けるツエ伯號の北極探險飛行計畫を發起する旨を發表した、乘組員等が乘船を拒絕したゝめであるもつとも協會は千九百三十一年度に敢行したいと希望する旨附言して居る

陸軍初めの觀兵式
日露役記念地で

來る一月八日陸軍初め當日擧行さる旅順の觀兵式は恒例の如く當日午前十時より行はせられ一般の拜觀を許されるが今回は新市街ヤマトホテル前の師範學堂運動場である旅順開城と共に皇軍が威風堂々入城式を行つた地點で參加部隊は駐箚步兵第卅九聯隊、旅順重砲大隊、旅順衞戍病院衞生隊に依つて擧行する事と成つた

財部夫人が紋服姿で
挨拶の歴訪

【ロンドン二十八日發電】財部夫人は横濱出帆以來の和服姿を捨ず今日は紋付姿で雨煙る中を松平大使夫人を首め邦人夫人達を訪問挨拶を述べた

エムデン號の乘組員暴動
給與不足で

【ベルリン廿八日發電】世界一周航海の壯途についたドイツ巡洋艦エムデン號はウイルヘルムスハーフエン港に寄港したが乘組員が十二月初めから給與不良の故をもつて暴動を起し赤旗を揭げ即時歸國を要求した、首謀者は既に逮捕されたと傳へられて居る

難航の三福丸
きのふ無事入港

十二月中旬山東威海衞海岸に於いて荒天のため避難してゐた門司野村汽船所有船三福丸(六九噸)は無事帝國サルベーヂボート那須丸に救助され二十九日大連港へ修繕のため入港した

三人組の支那人強盜が白晝邦商を襲ひ
逃ぐるお客を射殺

【ハルビン特電二十九日發】白晝而も雜踏のモストワヤ街鏡ケ江商店に二十九日午前十一時頃三名の拳銃を所持する支那人の強盜侵入し主人を脅迫逃げんとした來客の久保虎太郎を射殺即死せしめ現金三百餘圓餘を強奪逃走した

旅順各官衙行事

關東廳、軍司令部其他在旅各官衙公署では廿八日を以て御用納めとなり夫々所管長より歳末に際しての訓示があつた尚正月一日は午前十時高等官は兩陛下に對し賀狀を捧呈判任以下は奉賀引續き御眞影拜賀式を擧行する由

三井生命の支那進出
明年から營業

【東京廿九日發電】三井生命は明年支那在留邦人及び支那人を目當てに支那で營業を開始する

汽船沈沒し三十名溺死

【ソフィア二十七日發電】ブルガリア汽船ウアルナ號は本日マルモラ海で風雪の爲めギリシヤ汽船クリン號と衝突した後沈沒し乘組員中四名救助されたのみで三十名の溺死者を出した

貧困者に同情金
大連署に寄贈申出づ

二十八日市内貧困者に對して大連署を通じて左の如く寄贈があつた▲金五圓市内土佐町三八野津竹夫妻豐▲金十圓市内美濃町四一八千代席内猪森悦▲金十二圓八千久藝妓一同▲一圓同深谷きん

小さき愛の奉仕

驛島町基督敎青年會土曜學校生徒一同より播磨町育兒ホームに金十圓也と文房具及菓子其他の一箱を又春日町託兒所へ菓子と果物等の寄附をなし此の年末を賑はせしとのことである

吉林地方の在留鮮人
十一月末現在

吉林總領事館管内に於ける在住鮮人戸口數十一月末調査左の如し

縣別	戸數	人口
省城	六一	二六二
吉林	三七六	一、五九八
樺甸	八四六	三、一二二
磐石	六一六	二、三六一
額穆	七八五	四、四〇二
敦化	六三一	三、四六二
舒蘭	一二〇	五六八
濛江	三三八	一、三〇二
雙陽	一四九	五一八
計	三、九二二	一七、六六九

吉長鐵道の昇給運動
また再燃す

【吉林發】吉長鐵路局職の昇給運動は前任局長李鑑氏在任當時餘程具體化して居たのであつたが、突如李局長の更迭に依つて其後一時沙汰止みとなつてゐた處最近に至り右運動再燃し旣に第一回の打合せも終り目下昇給要求書の起案中だと云はれてゐる

政治運動嚴禁
吉林の學生に

【吉林發】吉林省政府敎育廳長王莘林氏は近時管内各地に於ける省縣公私立の各學校生等にして思想運動青年等の煽動により同盟休學するもの續出し紛糾を起しつゝある狀況に鑑み最近管下各縣政府敎育局長に對し學生等の政治運動其他課外行動取締方嚴命する所あつた

お留守の坊ちやん達に 財部全權夫妻のお便り
優しい母性愛の言葉を盛つて

【東京廿九日發電】若槻全權の留守宅へ手紙の屆いた同日芝白金三光町の財部全權の留守宅へも夫妻から四人の子供さん達へ何れも繪はがきの第一信があつた いね子の辰彦さんに宛たものは「三十日には元氣でせうね、三十日には横濱を遊覽ね、風邪もひかなかつて、之から又一生懸命に勉強をなさいね、パパもママも元氣です葉山の海などと違つて波く風強く昨日で三回目の雨風でママも之には閉口です、もうあと五日目でヴイクトリアへ入港との事です　ママより」と母性愛こまやかな筆致である、それにひきかへ財部全權から總領の武雄さんへ宛たのは「昨夜此の處に一泊元氣、一寸報告迄留守宅御元氣を祈ります」と如何にも軍人らしいあつさりしたものであつた

新年川柳句會

昭和五年の滿洲柳壇發展のため一月中旬を期して新年句會を開催します在滿川柳家は奮つて御投稿下さい

『長』　大阪　岸本水府先生選
『馬』　大連　小林茗八先生選

一月五日締切、一人一題三句限
優秀句へ薄賞を呈します(用紙半紙)

編輯局文藝係

けふのラヂオ

昭和四年十二月三十日(日曜日)
自午後〇時三十分　ニュース
自午後三時三十分　ニュース
自午後七時
一、ニュース
二、料理獻立
三、天氣豫報

美しい同情

市内大正通り一六三大内マツさんは廿七日沙河口署へ正月に餅も搗けないものへと餅一斗五升と金五圓を寄贈して來た

旅順消防演習
六日出初式に

旅順消防署所の昭和五年の出初式は六日擧行の筈で當日は午前七時を期し消防組一同は機械器具とともに敷島町電氣所前に集合八時までに點呼を終へて警察署長の點呼を受け訓示、答辭ありそれより恒例に依り乃木町昭和園前敎場溝を中心とし勇壯なる消防演習をなす筈即ち第一班はパルプレス式自動車ポンプ第二班はルトウイッグスパーブ式ガソリンポンプ第三班は水管自動車の消火栓直結にて放水競技開始高さ六十尺の竿頭に提灯其他の目標を置き放水して打落す外種々なる消防演習を行ふ由であるが午前十時終了の豫定である